Vol 34 No. 9822 Thursday August 24 1939 TAIRIKU NIPPO 昭和十四年八月廿四日（木曜日）第九千八百廿二號

大陸日報

TAIRIKU NIPPO
THE CONTINENTAL DAILY NEWS
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
213 & 215 E. CORDOVA ST.
VANCOUVER, B. C.
本紙定價（前金）六ヶ月 四弗五拾五仙 三ヶ月 二弗廿五仙 一ヶ月 八拾五仙
發行所 株式會社 大陸日報社 社長 山崎鄰 晩香坡東ハスティング街二一五 電ツリ五五三三

獨ソ不可侵條約 本朝一時調印を終了

ソ聯の英佛陣營參加を締出す

モスコー廿四日（ユーピー）——獨ソ不可侵條約調印に關するリッベントロップ獨外相、モロトン蘇外務人民委員との會談はスターリン、シュウルンベルグ駐ソ獨大使を交へて昨日クレムリン宮殿において後二回、六時間の長きに亘つて續行された結果廿四日午前一時半（日本時間）の曉に次の樣に答へる獨ソ不可侵條約に關しては詳細なる見解を十ケ年ぜす△兩國は單獨または第三國と共同して双互を侵犯せざること△兩國の一方を侵すことあるべき第三國に對しては他の一國は援助を與へざること△兩國は何れも直接または間接に兩國の一方を目標とする國家群に參加せざること

而して「一國を目標とする國家群に參加せざること」の第四條はドイツ包圍を目的とする英佛平和戰線（ソ聯が參加しないことを約したもので英佛ソ三國間盟は茲に全くノックアウトされたもので英佛に與へる衝動は大なるものがある

（ユーピー）本日の兩國通信は獨ソ不可侵條約に對し極めて密接な聯繫を保つべしとしてゐる、外務省一代辯者も外國通信員の質問に次の樣に答へてゐる

獨ソ不可侵條約に關しては詳細な見解を抒暫く發表する事は出來ぬが、吾々はドイツが防共協定に背馳するやうな行動を執るものとは思はぬ

ドイツ強硬

ベルリン廿三日（同盟）——ヘンダーソン駐獨英大使とヒトラー總統の會見後ドイツ外務省では左のコンミユニケを發表、ドイツの要求は英國の通告によつて何等の影響を來すものでない と強硬決意を示した

ヘンダーソン英國大使はヒトラー總統に對しチエンバレン首相の書簡を手交、獨ソ不可侵協定により英國の對ポーランド義務は何等變更を來さぬ旨を通達した、これに對し總統はドイツの要求並びに死活的利害を脅す通告により何等影響を來さぬ旨答へた

上海租界隔絶か

我が軍六千上陸

リッベントロップ外相が昨日午後一時モスコー飛行場に到着した際叫ばれた「ヘイル・ヒトラー」の聲は赤い國の首都に奇異な響きを與へ、リッベントロップの自動車に壓くスワスチカ（ドイツ國旗）にソ聯民衆は奇異な眼を瞠つた

◇大陸風景◇

大戰前夜の歐洲、發火點に達したる歐洲、非雨慘風は荒れんとする歐洲

……▽……

一度び銃聲轟かんか驚天動地の歐洲は我等の眼前に不氣味な相貌を橫たへたり

……▽……

歐洲最後の日來るや否や、歐洲人類爭闘の苦悶は日を趁つて增大しつゝあり

……▽……

進軍か退却か、ヒトラーとチエンバレンの双肩に疑問符は置かれたり

……▽……

今日はヒトラーとスターリンとチン〳〵カモ〳〵したる記念すべき日なり

上海廿四日（外電）——上海租界への强行手段のため本日日本陸軍は新たに六千の兵を上海方面に揚陸した、獨ソ不可侵條約がいよ〳〵正式調印を見たので日本軍は租界隔絶を決意した模樣、尙は確實な筋への情報によると日本政府は現地軍當局に對し支那の反英運動を取締るべしとの命令を發したといはれる

ソ聯民衆 奇異の感

秘密の國ソ聯

モスコー廿四日（エーピー）——獨ソ不可侵條約締結の報はベルリンでは早く傳へられたに反し、こゝモスコーでは昨夜に至り漸くレヂオを通じ「獨外相リツベントロップが昨日午後一時モスコー着」を放送したのみで一般市民は今朝の新聞を讀んで初めて不可侵條約締結を知つたほどであつた、こゝに「秘密の國」ソ聯の面目躍如たるものがあり一般ソ聯民衆は今まであれほど憎むべしと敎へられて來たドイツと手を握るに至つたことに對しては全く狐につまゝれた形である

我が對歐策 陸海で意見一致

英米佛との親善强化

ロンドン廿四日（ユーピー）——獨ソ不可侵條約締結の報を受けてスペイン・フランコ政府は該條約は防共協定を無効にするものだと憤慨し防共協定を破棄するに決した樣へられる

スペイン國は 防共協定破棄か

ベルリン廿四日（英國合同）——ドイツ政府は今朝獨ソ不可侵條約並び經濟協定の調印に際し英國はボーランドをして ドイツに屈伏せしめるよう外に於て しと發表した、宣傳省は條約の第四條は英佛ソの三國間盟を根柢から不可能ならしめたものであり英佛の平和戰線は殆ど全く打ちのめされたものだとしてゐる

一方政界では第四條を目して日獨伊防共協定の實質を廢棄するものであり ソ聯の極東に於ける對日行動に自由を與へたものだとの見解を有してゐる

また第三條は眞なる不可侵條約より更に一步進めたもので獨ソ兩國は双互の利益に關して常に緊密な情報交換をなし大規模な共同戰線を張ることを約してをり、二百五十萬の陸軍と强大なる空軍を有するソ聯を今や味方にしたドイツは、ポンサヒは勿論、ボーランド廻廊及び上部シレジア地方に對する初志貫徹はます〳〵容易になつたと觀測されてゐる、尙ほ東京日日、報知その他各新聞は獨ソ獨伊ブロック結成を示唆し、政府は如何なる場合にもドイツの態度を打診すべきであるとの論調を掲げてゐる

日獨條約談

外務省

東京廿四日（外電）——獨ソ不可侵條約締結を呼べる一部では獨ソ不可侵條約締結の樣な重大なる變化に對し日獨防共協定は今後果して何ものを目標とするか

答 ドイツは從來屢〻防共協定は嚴然として持續せらるゝ旨力說し來つたのであるから不侵略條約締結に關しても防共協定と抵觸せざる樣然るべく手配を執つたものであり、又執るものと思考する

問 ソ聯の支那援助は增强するか

答 目下のところ豫測に困難であるが我國としてはこの問題の如何に拘はらず東亞新秩序の結果ソ聯は目標どならず防共協定は今後果して何ものを目標とするか

答 ドイツは從來屢〻防共協定は嚴然として持續せらるゝ旨力說し來つたのであるから不侵略條約締結に關しても防共協定と抵觸せざる樣然るべく手配を執つたものであり、又執るものと思考する

問 ソ聯の支那援助は增强するか

答 目下のところ豫測に困難であるが我國としてはこの問題の如何に拘はらず東亞新秩序

防共協定を 反古化したもの

東京朝日の論說

ソ聯と互侵條約を締結したドイツは明かに防共協定を反古同然にしたものと云ふべきであつて、それは日本がソ聯と不可侵條約を締結するとしたら、それこそ笑止無稽もあるが、今回の條約の結果ソ聯は目標どならず防共協定は今後果して何ものを目標とするか

答 ドイツは從來屢〻防共協定は嚴然として持續せらるゝ旨力說し來つたのであるから不侵略條約締結に關しても防共協定と抵觸せざる樣然るべく手配を執つたものであり、又執るものと思考する

問 ソ聯の支那援助は增强するか

答 目下のところ豫測に困難であるが我國としてはこの問題の如何に拘はらず東亞新秩序

ルーズベルト大統領・ヒ總統へ 再び親書送達？

米の悲觀說濃化

ワシントン廿三日（同盟）——ハル國務長官は廿三日午後四時半より約一時間、ホワイトハウスに出頭、ルーズベルト大統領と會見したが、一ガルの情報によれば、ルーズベルト大統領はヒトラー總統にメッセージを送るのではないかとの噂もあるが、ルーズベルト大統領は中立法問題で隣時議會を何時でも召集する準備に當るものと云はれる、仙方國務省當局は歐洲の事態を相當悲觀的に見てゐる事は事實で、昨秋のミユンヘン會議及び今年春のチエコ併合當時に比し危機勃發の可能性はより濃厚だと云はれる

防共協定に影響なし

河相情報部長と一問一答

東京廿三日（同盟）——河相情報部長は二十三日外人記者團との會見に於いて獨ソ不可侵條約に就き大要左の如き一問一答を爲した

問 獨ソ協定の防共協定に對する實際上の影響如何

答 詳報に接しないので仔細に亘る見解は述べ難いが、ドイツとしては防共協定と相互矛盾せざるが如き用意を以て條約締結を爲すものと期待してゐる

問 防共協定はソ聯を目標としたものであるが、今回の條約の如何に拘はらず東亞新秩序建設に關する不動の方針貫徹のため努力するのみ、右方針の實現途上に起る事あるべき凡ゆる情勢は既に考慮の中に入れておいた

問 日本の對歐方針は根本的に變改する事とならぬか

答 左樣には考へぬ、日本の根本的對外方針は何よりも先づ東亞の時局を安定して新秩序を確立するにある、尤も他の地域に於ける情勢の變化は日本の對外方針に多少の影響を及ぼすであらうが重大と云ふ程の影響はない

扇風機

特價 三弗四十五仙

ヤマダキシー 一四一四

カルシマインペーントぬり 紙はり 電話ツリニテー二八九エル 小林（程明）（看持）

富士美容院 北野書美江 電話ハイランド四九一八

矢部しげ子 電話ハイランド一〇三三エム

美粧院 電話ツリニテー一〇二一 住宅ハイランド三二一七

日本人總代理 矢田源一郎 電話ツリニテ五一〇一＝五一〇二 住宅ハイランド三二一七

加奈陀サン生命保險會社 暑中御見舞申上げます 300 E Cordova St. Vancouver, B.C. 電話 ツリニテ 五五九九 及 四六九七 中野保險 事務所

Monarch Life Assurance Co.

非常の場合家族を救援、壯年時に事業の援助 子弟の敎育完成、老後の「ッピーライフ 當社を御利用下さい
モナーク 生命保險會社 支社 晩香坡市ローヂャスビル デング（内）八〇一＝九
日本人部代理 後藤金平 事務所 シーモア四七四一 電話 自宅 ハイランド〇七七〇Y

TANAKA INSURANCE AGENCY 田中保險代理社 415 Powell St Vancouver, B. C Phone High. 2571
市内 火災保險 料率引下げ 第四面廣告參照 其他詳細は 田中保險代理社に

SUN LIFE OF CANADA

日加貯金 ◇貯蓄預金 ◇當座預金 ◇公債買賣 ◇信託預金

日本送金 ◇最近締切日 日枝 九八月廿六日（土曜） カナダ 九月一日（金曜） 何れの地方へでも無手數料で 確實迅速に御取扱ひ致します
日加合同貯蓄會社 晩香坡市ウエルエバ街三九八 電話ツリニテ〇四〇〇 JAPAN AND CANADA TRUST SAVINGS CO. P. O. Drawer 130 398 Powell Street Vancouver, B. C.

THE ROYAL BANK OF CANADA East End Branch Vancouver, B.C.
▲預金 總ての銀行取引には當ローヤル銀行をお決め下さる樣御願ひいたします 當行では皆樣に充分御滿足をお與へする事が出來ると確信してをります
▲送金 多數の日本内地銀行と取引して居る當行では日本送金相場を非常に勉强してをります事は既に皆樣の御承知の事と存じます 當行では日本人事務員を雇用して居りますから日本人の取引には非常に便宜で殊に地方に住なさる方では邦文の手紙で用を達する事が出來ます
◎總資産 九億弗 ◎資金及積立金 五千五百萬弗
ローヤル銀行 メーン街及びハスチング街角

The Yokohama Specie Bank 822 3rd Ave., Seattle Elli. 3575 P.O. Box 1917
◎資本金 壹億 ◎積立金 壹億參千八百四拾万圓
横濱正金銀行 シアトル支店
○鄕里送金＝無手數料にて日本内地、滿鮮、其他へ迅速且つ確實に送金いたします
○普通送金＝送金手形或は電信爲替世界各地向取組
○期貨定期爲替手形＝利息、六ケ月以上年三分三厘
○米貨定期預金＝當行桑港支店に御取次致します 期間は一箇月以上一ケ年迄 利息は當店御取次の日より附けます

THE SUMITOMO BANK OF SEATTLE 802 3rd Ave., Seattle, Wash.
日本向送金手形、鄕里送金は左記のローヤル銀行支店にて御取次致しますから精々御利用下さい 晩香坡イーストエンド、メインストン ユウエストミンスター、マーボー、ラドナー、カムバランド、ビクトリア等
米金預金 弗貯蓄預金 年二分 弗月掛貯金 年二分 小切手勘定 無利息 日本向定期爲替手形 六ケ月以上年三分三厘
シアトル住友銀行 弗定期預金 六箇月以上年二分二厘 弗特別定期（十年書替不要）年二分二厘

公債 シ・エム・オリバー株式會社 日本人部主任 上西喜代多 電話シーモア八〇二四 334 Hastings W.
◇日本帝國公債賣買 ◇英米佛貨債、四分利付佛貨公債專門 ◇公債買入れには金融の便を計ります

昭和の軍神
西住戰車長傳
（三）
菊池寛作

戰車隊が、協同して優勢極まる敵軍の陣地に突入を試みたる當時の思出は今尚記憶に新しく、修生忘れ得ざる場面に御座候。

昨年十月下旬、南翔方面の攻撃開始以來、次々と敵陣を攻略し、十月三十日蘊家宅、陶家宅の激戰に部下の死傷續出、陶家宅の前三百米の地點に於て戰線整理の爲一夜を明かし、翌朝路傍に向はんとした時、西住大尉の指揮する戰車十數臺、進め進めと命じられたる時は、當時我が眼前に於て、敵の一彈丸が炸裂し、一人として戰死者を出さざる事を祈ヒ候。

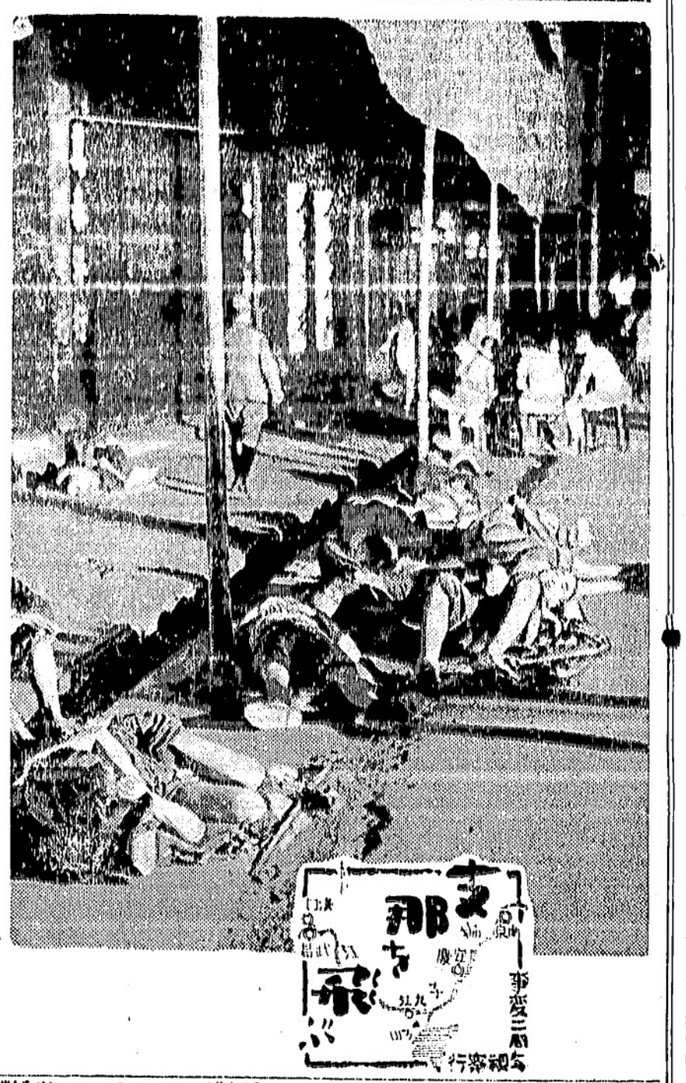
茲に謹んで、大尉殿の御武運に深く感激致すと共に、心より英靈の御冥福を祈り奉る次第に御座候。

想すれば、かの上海の路上の際は、小官の率ゐる步兵一中隊と共に小官麾下西住大尉の指揮する戰車隊が、協同して優勢極まる敵軍の陣地に突入を試みたる當時の思出は今尚記憶に新しく、修生忘れ得ざる場面に御座候。

昨年十月下旬、南翔方面の攻撃開始以來、次々と敵陣を攻略し、十月三十日蘊家宅、陶家宅の激戰に部下の死傷續出、陶家宅の前三百米の地點に於て

雀も落ちる漢口に夜空の爆音も夢心地
安心し切つて路上に涼み臺

……漢口の夜の街頭……



特二號、漢口の軍報道部放送班の真間ひにあるロシア風のロシア人の内儀さんはザンザリ頭になつてしまつた。ザンザリもザンザリ、是非なく五分刈にするが、それが銃後に捲き起つた「銃後」風の坊主頭流行に由來しての事だと聞くと、「暑いからだ」と答へるのである。

雀も落ちつくして、女も頭上の「雀の巢」を知る漢口の暑さ。今年ほど遮つて近くの野原地が戰場となり、十上り十下りの山もしばられた興亞二年の漢口の夏はたうとう外國婦人に坊主刈りを出現させた。これはさかし涼しからう、傍で見る目も亦、如何にもすがすがしいのである。この涼しさは烈々たる炎熱の戰ひの中にふと知る涼しさであつた。漢口はこの戰場にもかゝはらず、どんな田舍にもぐり込んでも必ず生きることを知つてゐる女那人たちはいつぱいわれてゐた。日本の兵に護られてゐた門前の生活がはじまる。中山路の新市場は滿員だ。芝居で、ダンスで笑ひ、いつまでも手品を眺めつゞけ、日本製のサイダーをあほる。

夜ふ來ろ、風がハタと止む。風が世界中の苦惱を眼はしてゐるが息ふともう次の相手に移けに今までも敬々敷愛稱上に浮つてゐるといふ目まぐるしい廻轉振りである、一體現在ハリウッドに何人のオールド・ミスと獨身者がゐて次の結婚を狙つてゐるか『秘密探偵社』もできに調べてみると次のやうな表が出來上つた

▽……

まづ世界で一番華やかな九人のオールド・ミス、派手な存在だが、シーザー・ロメロといい仲だと言はれるアン・シエリダン駈落までした享年を捨てたベット・デイヴイス、舞臺に戻つたキャザリン・ヘップバーン、ダグラス二世とフランチヨット・トーンと別れたジョンクロフォードの他ロレッタ・ヤングや二度の結婚で一人づつ子供を生んだジョン・ベネット等がゐる

ドには日本の幸福な名前をつけよう——。

防空壕になつたり銃眼が開いたりしてゐた長江岸の並木道はいつの間にか立派な大堤防に變つてゐた。いつこんなことになつたのだらう。誰も知らない。知らない間に、日夜の大復舊工事が進められて大堤防が出來上つてゐる。敵機をのがれて穴の中へもぐりこむ必要もないし、揚子江の水もこの岸を越ねて再び漢口市内に侵入しようとはしないだらう。水魔を防いでもらつた。眼腹の兇手からも脫れさせてもらつた。もうあとはフランス租界で出來たサイダーをのまなければそれで絶對安全なのだ敗日前佛租界で造られたサイダーをのんで病人が十數名出たばかりではないか。禁制品を混入したサイダーなどはのむな。何もかも日本にさへ賴つてゐればいゝ、あゝさうだ。それでいゝ——そして、苦力は寢返り打つて、またグッスリ眠つた。

爆音が夜空に響いてゐる。今晩もまた重慶だらうか。衛陽だらうか。

鋪道はこの臨時ベッドを求めた人々で埋まつて歩かれない足を投げ、胸をひろげ、手を開いて大の字になり、鋪石を自室のベッドの如く勝手な姿態で、グッスリ睡るのである。その頭上を日本の歩哨が靴の踵を鳴らして通つていく。「野鷄」が、人と人との間隙を拾つて巢のやうに通り拔ける。

「かへろ〳〵」野鷄は日本人の姿をみつけると呼びかけた。おそらく「歸ろ〳〵」であらう。野鷄はこれを「行かう〳〵」といふ意味の日本語と思つてゐるのだ。日本の兵に護られてゐた門前の生活がはじまつてゐた路上に轉がつた苦力たちも、ふと目が覺めると

「日本で一番美しい言葉はなんといふ言葉だらう」

「勝利」などと考へたりする。「勝利」などか「繁榮」などか「幸福」などか、そんな日本語を知りたいのだ。この日本語を自分たちが夜傳に聽ころがるこの道路の名前

オヴリヴィア・デ・ハヴイランド

バーバラ・スタンウイックがロバート・テイラーと、アナ・ベラがタイロン・パワーといふ風にハリウッドの美男美女は次から次へと片づき、今や映畫俳優には獨身者がゐないのぢやないかと氣がもめる程だが、よくしたものでそこは隣婚結婚常ならざるハリウッド人種のこと、戀の火遊びが世界中の話題を賑はしてゐるが息ふともう次の相手に移

世界中で一番派手な獨身男と老嬢名簿
どれもこれも戀の前科者スフ入り孤獨が賣りもの

び、聖林省に驅がれたものだが今のところはまづ獨身とある噂だけでなく一度又はそれ以上或は婚約し或は戀愛位したことは勿論といふ但し書つきのオールド・ミス

▼イザ・ミランダ

パラマウントの人氣者、ブロンドの伊太利娘、此子がどうして今まで獨身でゐたかハリウッドの不思議の一つ、デイトリツヒのやうに姿よく、ロンバードのやうにスマートで、その上家庭的な娘さんなのに……

▼オリヴイア・デ・ハヴイランド

東京生れで廿二歳の花盛り、旦那さんを迎へるには一寸躊躇さる、自分自ら家庭向きな女でないことを認めてゐるが、事實裁縫も料理も出來ないらしい

▼グレタ・ガルボ

廿二歳の姥櫻、ストコフスキーとあれだけ騷がれたのにオールド・ミスの列に加へるなんて、どうかと思ふが、事實今のところは獨身「私結婚しようと思つたとなんて一度もありません」とスマしてゐるが、どうだか怪しい、中々家事がよく出來るといふ噂である、週給二三、〇〇〇弗の高給取りだからそのうち養子を取るかもしれない

グレタ・ガルボ

▼アニタ・ルイズ

ガルボより十歳年下だけに週給も一ケタちがひの一、五〇〇弗青い眼で髪はブロンド、靴のサイズは七セガルボと同じ

▼ブリシラ・レーン

廿四歳の彼女はかつてウエンモリスを好きだつたことがあり、ウエン・モリスも亦彼女を好きだつたこともあつた

▼ソニア・ヘニイ

廿七歳、商賣上手の彼女は、オリムピックの選手時代のことも忘れて今や商賣に夢中、男の子なんてテンデ眼中にないらしい

▼エリアナ・パウエル

廿五歳、踊りの名手も未だ獨り身を呼つてゐる

▼ロザリンド・ラッセル

廿歳になりながら未だにハリウッドの男は全くいけすかないと虛勢を張つてゐる

▽……

以上のオールド・ミスに代り合つて男の獨身者名簿を開いてみればハッキリした獨身者は非常に尠い何れも多少は女ツ氣が混紛されてゐるスフ獨身とみた方が間違ひない樣だ、但し洗濯は利くとのこと

▼ケイリー・グラント

廿歳、身長六呎一吋、英國生

▼グレタ・ガルボ

廿二歳の姥櫻、ストコフスキーとあれだけ騷がれたのにオールド・ミスの列に加へるなんて、どうかと思ふが、事實今のところは獨身「私結婚しようと思つたとなんて一度もありません」とスマしてゐるが、どうだか怪しい、中々家事がよく出來るといふ噂である、週給二三、〇〇〇弗の高給取りだからそのうち養子を取るかもしれない

▼ギルバート・ローランド

スペインの鬪牛士の子と云はれる彼はコンスタンス・ベネットのお氣に入りと取沙汰されてゐる

▼ウ井リアム・ボウエル

四十六歳の伊達紳士は二度結婚して二度とも離婚、三度目に婚約中だつたジーン・ハーロウに死なれてからは一向彼のロマンスは聞かない

▼ジエームス・スチユワート

獨身者である證據には皿洗ひが得意中の得意だとハンな自慢をしてゐる、シーザー・ロメロのやうに聖林オールド・ミスのお氣に入り

▼エドガー・バーゲン

腹話術師のバーゲンと人形チャーリイ・マッカシイ二人とも未だに獨身、兩方で牽制しあつてゐる氣味だが、歌手ケイ・セント・ディーメインが聞もなくマッカシイの母親になるだらうといふ噂に彼人形のくせにしきりに妬いてゐるとか

▽……

その他「結婚はしたけれど今は獨身」といふ中には四十歳になるまで三度も離婚したケイ・フランシス今年になつてからオーケストラの指揮者と別れたドロシイ・ラムーア、シーザー・ロメロといい仲だと言はれるアン・シエリダン駈落までした享年を捨てたベット・デイヴイス、舞臺に戻つたキャザリン・ヘップバーン、ダグラス二世とフランチヨット・トーンと別れたジョンクロフォードの他ロレッタ・ヤングや二度の結婚で一人づつ子供を生んだジョン・ベネット等がゐる

大賣出し
廿六日(土曜)ヨリ 九月二日迄

れ子達の學用品とれ身廻り品
夏物品の大英斷……秋向き新品
何れも値段の安いのと 品のよさ、品の豐富さ は
御來店下さればきつと御滿足請合です

スクールケース　一、一五
スクールバツグ　特價
ペンシル　デキソン上等　三五
スクールブツク　一冊
同　三六頁　一〇
同　二八頁　一打　八五

ボーイ部（特賣の一部）二階

ロングパンツ　純毛　同　ハイウエスト　二四—三二　同　スエタコート　ゼツバー付　同　キヤツプ　ポバシヤツ　プラウス　一打　三五　一冊　一〇　一打　三五　一打　三〇

ガール部（特賣の一部）二階

木綿ドレス　各種　夏ポバコート　プールポバースエタ　キヤシミヤスタキン　袖無アンダ、プルマアンクルサツクス　中厚　三〇　三五　四〇　四五　三五　一九　全部　三割引　一、二五　一割引　一二八

婦人部（特賣の一部）二階

絹ブラウス　婦人ハツト　スカート　スエタコート　半袖プールポバー　絹プリンセスリツプ　絹スタキン　クレツプ　コールセツト　絹スタキン　ガススタキン　二、九五　一、九五　一、九五　三、〇五　九八　一、二五　一、〇〇〇　一、二五　七五　三〇

男物部（特賣の一部）一階

スポートシヤツ　紐付　同　ゼツバー付　ボロシヤツ　スエタコート　同　ゼツバー付　サスペンター　スタンフイルド　三三〇〇號　仕事シヤツ　グレー　袖無アンダシヨーツ　柿バンツ　二、〇〇〇　一、九五　二枚　一、二五　六、九五　四、九五　四、九五　六、九五　三、五〇〇　一、一五　七九　一組　七〇　一、六五　一、三五　五五　一、三五

玉毛糸　大特價　一オンス　一〇
プレミヤ毛糸　太手　一斤　一、六五
ピロー（枕）　一個　一、九五
プリントドレス地　一、二五　九五
絹地ドレス地　二割引
同　白ネル　卅吋巾　ヤード　四五
同　卅吋巾　同　五九
フトン綿　百目打　一三　五ヤード　四五
脫脂綿　正味半斤入　一八　二ヤード　二九
同　一枚　三五
一、一五　一、二五　三五　四五

以上は特價品の一部を記載致しました
どうぞ早目に御買上下さい

晩市バウエル街三六九　電話シー五二一八—五二一九

前川商店

午後六時　ホノルル行
午後七時　ロシア　九月九日
午後七時　水川丸　九月十八日
午後七時　ジヤパン　九月十九日
午後十時　エジア　十月五日
午後一時　九月十八日
午後一時　九月十六日
午後一時三十分　レアトル行（スラーズ）
午後一時三十分　九月三十日
午後一時三十分　九月三十日
午後一時三十分　十月十四日
レーヒー丸
午後一時三十分　レーエス・テール　月、水（後九時）
午後一時三十分　ポートアリス行　ユニオン汽船（パーデー經由）（火、金）後九時
午後一時三十分　（木）前九時、十二時　（金）前九時、後七時　（土）前九時、十二時半、後八時半　（日）前十時、後九時
午後一時三十分　シーエス列車（シアトル行）　發　後七時一五・着　八時四十五
午後一時三十分　大北列車（シアトル行）　發　後六時　着　後十時五十五分
午後一時三十分　野菜＝新西院　ビーツ　二把　ヤヤベヂ　一斤　ヤヤニック　一把
午後一時三十分　マシルーム　三斤　一斤　二〇……三〇〇　即賣
午後一時三十分　生肉　一斤　十三〇—一五〇　四……一六　一五　牛肉　ふたにわとり　（昨日最高七〇度・最低五一度）

□今明日の天氣豫報
西方の風、うす曇り涼し

△金曜日　廿五日　午後九、二八　午後四、〇六
△土曜日　廿六日　午前九、三〇　午後四、四一
△日曜日　廿七日　午前十一、一一　午後十、五七

いよ〳〵準備成る
カナダの『國防』計画
陸軍六万に對して動員令を下さん
オタワ政府いよ〳〵緊張

歐洲に第二の大戰が勃發すればカナダは直に參戰を叫んでカナダの國境の防備を初め工業地帶や軍港、ドック其の他重要施設の警備に充てることになつた、カナダの兵力は今のところ約五萬内外であるが是を全部國内の防備に充てサボタージュ其他を取締り一切の軍事的任務につかしめる更にカナダ陸軍六萬の召集、新兵の募集等をも必要に應じては行ふ筈

オタワ政府は倫敦及びニューヨーランド政府と違つて英國の爲めに直ぐに參戰するとは公表してゐないが個人的にマッケンジーは「英國の參戰即ちカナダの參戰」とハッキリ聲明してゐる

現在のカナダ政府の動員計畫ではカナダから軍隊を歐洲の戰地に輸送することにはなつてゐないのだ、なほ徴兵制度も採用しない徴募兵が最前は英帝オタワ議會を開催した上で更にいづれなりとも決定をみるであらう、即ちカナダは英國の爲めの範圍まで加勢するかの點を檢めるのである、即ち自主的によるとカナダ政府は戰爭と共にカナダの軍士業全部を管理し得るやうにもなつてゐる

◇

オタワ政府は昨夜來緊張して

オタワ國防省では今夏ビーシー州の白人漁者約四百名に對して海軍に關する海上訓練を行ひ漁者像備海軍團を組織したが、戰爭の場合は直に是を動員しビーシー州沿岸の防備任務につかせる、なほ東部海岸の漁者も臨時海軍團に召集して必要な警備任務に使用するらしい

ンドンと情報の交換を行つてゐる、オタワの戰時本部は本日めぼする旨言ひ渡した、我般日が カナダは直に參戰を叫んでカナダの國境の防備を初め工業地帶や軍港、ドック其の他重要施設の警備に充てることになつた、カナダの兵力は今のところ約五萬内外であるが是を全部國内の防備に充てサボタージュ其他を取締り一切の軍事的任務につかしめる更にカナダ陸軍六萬の召集、新兵の募集等をも必要に應じては行ふ筈

オタワ政府は倫敦及びニューヨーランド政府と違つて英國の爲めに直ぐに參戰するとは公表してゐないが個人的にマッケンジーは「英國の參戰即ちカナダの參戰」とハッキリ聲明してゐる

現在のカナダ政府の動員計畫ではカナダから軍隊を歐洲の戰地に輸送することにはなつてゐないのだ、なほ徴兵制度も採用しない徴募兵が最前は英帝オタワ議會を開催した上で更にいづれなりとも決定をみるであらう、即ちカナダは英國の爲めの範圍まで加勢するかの點を檢めるのである、即ち自主的によるとカナダ政府は戰爭と共にカナダの軍士業全部を管理し得るやうにもなつてゐる

◇

オタワ政府は昨夜來緊張して

米國大統領が
『戰爭回避』の新運動
本日イタリー皇帝に特に訴ふ
アメリカも一役と

米國大統領ルーズベルトは本日イタリー皇帝エマニエル陛下に對し正式に米國大使を通じ皇帝の御力により何卒歐洲の一大危機回避に努められたしと願ふに至つた、既にチエコ問題で一度ルーズベルト大統領が三十數ケ國に呼びかけて親電を發したのと思ひ合せると興味ある事だが、今次のイタリー皇帝に對するアピールは、國際といへども生存の權利があるのであるから何卒その點を御考慮になつて一日も早く御戰爭回避のものである

◇

ルーズベルトがイタリー皇帝を選んだのは相當の理由あり第一にイタリーはドイツとロシアが新條約を結んだことにより防共協定の立場が變になつて或ひは獨伊枢軸から脫退するかも知れぬと云ふ豫想がある爲めにイタリーは今戰爭を望んでゐないかも知れないと云ふ臆測があるためと云はれる、大統領はイタリー皇帝に對して更に

「皇帝の政府にして現下の事態を平和的に解決する何か新提案でも行つて局面を終結を實現させて下されば何よりの幸福と存じます、アメリカ政府は深甚なる同情を以て貴政府の努力を支援するものであります、イタリー政府とアメリカ政府は共にキリスト敎の理想の實現增進に邁進することは全然不可能な事ではありませんから……」

とある

◇

ワシントンでは各國大使達がしきりに米國政府當局を訪問し何等か密議してゐる模樣だ、米國の力を借りて歐洲の危機を解消せしめんとする努力の現はれかも知れぬが又アメリカの意向打診の一句は誠に味はひ深い言葉である、だが、今日の個人同士の友情が此の一句に表現される程の親愛を持つてゐるかどうか？誠に怪しいものである、昔、支那の春秋時代に管仲、鮑叔牙といふ仲の良い二人があつた、お互に心を知り合ひ深い友情關係にあつたので友人同士の親交を管鮑之交といはれてゐるが、その昔杜甫が「君不見管鮑貧時交、此道今人棄如土」と浮薄な友情關係を慨嘆した、今日の世の中はどうであらうか？

◇

世の中には「友情」と思はれるものが多い、併しよく之を掘り下げて檢討して見るとそれは利害關係に立脚した一時の交際に過ぎず、利害相反するときは仇敵關係に陷る例が多い、いはばお互同士がお互の面前で赤裸々に自己の意見を現はさずお互の調子に合はせてその時〳〵を自己に有利に導かんとするエゴイズムに支配されての「友情」である、だからそこには純粹な心情のあらう筈はなく、杜甫の嘆いた昔と同樣一度び相反せば「土の如く棄つ」るのが今の世の中である、恰も今日の國際關係と似通つてゐるのである

◇

そこで、あれほど主義の違つたように見えてゐたドイツとソ聯が不可侵條約を結ばうと何をしようと、吾々個人同士の所謂「友情」から考へて見ても何の不思議もない、不純粹な「友情」のために自己の純眞な精神を傷けられ曲げられた憤慨する前に先づ私たちは今日の世の云ふ「友情」なるものがどんなものであるかを知らねばならない、自己が如何に一本位的に眞の友情を守り通さうとしても相手は不純正なのが多い世の中だ、管仲を援けた鮑叔牙のような人間が滅多にゐない譯かはしい世の中だから。

【船英一路】

歸還兵達は
國家に奉ず
船員にガス・マスク
汽船に大砲用意

カナダ古兵團體長にして晩香坡市警察署長たるフオスター少將は昨日左の如く語つた

現下の情勢がいよ〳〵戰爭へと進展せば我等歸還兵は前大戰同樣全員を擧げて國家の爲め起つ、約六萬のメンバーが居るが是等は既にカナダ國内の警備其の他必要なる任務に喜んで應ずべくレヂスターしてゐる

加奈陀アーミー・ネービー古兵協會長ウイルキンソンも

肩を並べて！これが我等團體のモットーだ、我等はチエコ問題の際に既に大會でいつでも國家の爲め任務につく事を決議した、今次も變る所なし我等は英帝國と運命を共にするのだ

と云つてゐる

晩香坡へやつてくる英國汽船はどれもこれも甲板に大砲を据ゑつける準備をしてゐるが、汽船の乘組員の大半は水兵上りである由

と云つてゐた、汽船の乘組員は

戰爭ばなしで
持ち切る

晩香坡の町は昨今戰爭はなしで持ち切つてゐるが中には斷じて戰爭にならぬ、結局ボーランドが折れるとの説もあるが

と云ひ切るものあり

ヒトラーが要求を修正するか否かは賭けになるとも云つて居るのもある

バラード決勝一回
朝日先づ快勝
メリットを八對五

朝日對メリット・ゴードンのバラード・リーグ決勝第一回戰は昨夕五時四十五分からバウエル球場で行はれ、ソウダーと菅がマウンドを承はつて互に烈々たる火花を散らし、兩軍の攻撃陣また壯烈を極めて龍虎相搏つ熱戰を展開したが、朝日三回裏の總攻撃で滿壘の中村の放つた本壘打が決勝の礎石となり、入對五で朝日に先づ第一回戰の凱歌が擧がつた

戰ひはメリットの先攻で火蓋を切り、一回裏の劈頭で山村の快打に益田痛打を馬掛けて一點を擧ぐれば、二回表でメリットは一點を償却し、三回表でメリット又一點を加へた

が、その裏で朝日は山村の再度安打をトップとして大砲列を布き全軍總出演の壯觀を呈した、即ち山村に續く益田死球を喫し三井、菅が釣瓶撃ちの巨彈を放つて山村、益田を生還せしめ、宇野の四球と一死後白石の快打で前記の如く滿壘の好機を擁し、中村が大本壘打を放つてこの回に一擧七點のハイ・ポートを擧げたメリットは四回表一點、五回表二點と得點をつみ重ね旗皷堂々と朝日の堅壘に迫つて來たが、朝日の守備線は漸く銳鋒を挫して土俵を押切つた

得安失
メ軍〇二一三〇＝五　十　三
朝日　一〇七〇〇×＝八　九　三

▽……この日朝日の勝因は云ふまでもなく三回裏總攻撃の奏功にあるが、わけても滿壘で本壘打を放つた中村の功勞は殊勳甲に値する

▽……この日朝日は守備に弛緩を見せたが六、七回に至つて漸く立直り兩回共に見事な併殺を演じてメリット軍反撥の危機を脫した

戰爭話で
砂糖が上る
小麥値止る

戰爭話でカナダでは砂糖値が上りかけたと昨夜情報があつた、此の前の歐洲大戰でカナダも砂糖が足らず困つたのは皆知る所である、ウイニペッグの小麥相場は昨日まで〆グンと騰つたが本日は冷靜である、ニウヨークのマーケットは頻りに本日買賣が活氣を呈してゐる

平和の爲祈る

全世界の基督敎界は平和の爲めの祈りつゝある、晩香坡のクライスト・チャーチでも來週金曜日平和祈禱のサービスを行ふ

卅年前の今日
大陸日報より

◇明治四十二年八月廿四日——本日白壹のこと日本人街の眞中で一人の南京さんを其料亭のウエトレスが「なんでもかんでもカマン・マイハウス」とはかり手を引き袖を引きしてゐたと報じてゐる

獨ソ條約と友情

イデオロギー的に氷炭相容れざるかの如く見られてゐたドイツとソ聯が、掌を返すがように不可侵條約を結んで世界をコンガラがせてゐる、ソ聯とドイツがそんなことをしようとそれは兩國の勝手で兎や角言へたものではないが、玆に疑ふを得ざるものは今日世界の所謂「國際友誼」とか「國際信義」とかいふ薄つぺらな言葉である、尤も昔から世界の國家關係は昨日の味方が今日の敵であつたり、今日の敵が明日の味方になつたりして變轉極まりなく國際的友誼の永きに亘つて持續された試しのないことは世界の歷史がよく示してゐるところで今更ら驚く程に足らぬことだが、こゝで私は今日の國際友誼なるものと人間個人同士の友情といふものについて考へて見る、そこに幾多の相似性があるから面白い

◇

「友あり遠方より來る、また樂しからずや」といふ論語巻頭の一句は誠に味はひ深い言葉である、だが、今日の個人同士の友情が此の一句に表現される程の親愛を持つてゐるかどうか？誠に怪しいものである、昔、支那の春秋時代に管仲、鮑叔牙といふ仲の良い二人があつた、お互に心を知り合ひ深い友情關係にあつたので友人同士の親交を管鮑之交といはれてゐるが、その昔杜甫が「君不見管鮑貧時交、此道今人棄如土」と浮薄な友情關係を慨嘆した、今日の世の中はどうであらうか？

◇

世の中には「友情」と思はれるものが多い、併しよく之を掘り下げて檢討して見るとそれは利害關係に立脚した一時の交際に過ぎず、利害相反するときは仇敵關係に陷る例が多い、いはばお互同士がお互の面前で赤裸々に自己の意見を現はさずお互の調子に合はせてその時〳〵を自己に有利に導かんとするエゴイズムに支配されての「友情」である、だからそこには純粹な心情のあらう筈はなく、杜甫の嘆いた昔と同樣一度び相反せば「土の如く棄つ」るのが今の世の中である、恰も今日の國際關係と似通つてゐるのである

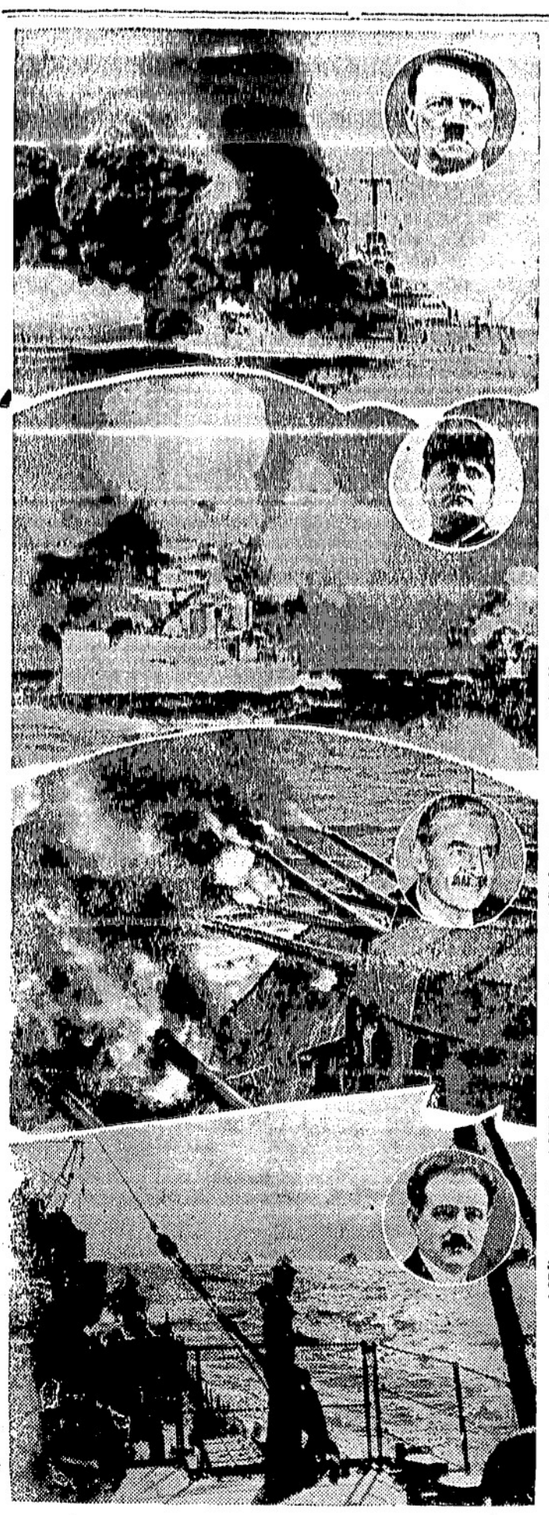
◇

そこで、あれほど主義の違つたように見えてゐたドイツとソ聯が不可侵條約を結ばうと何をしようと、吾々個人同士の所謂「友情」から考へて見ても何の不思議もない、不純粹な「友情」のために自己の純眞な精神を傷けられ曲げられた憤慨する前に先づ私たちは今日の世の云ふ「友情」なるものがどんなものであるかを知らねばならない、自己が如何に一本位的に眞の友情を守り通さうとしても相手は不純正なのが多い世の中だ、管仲を援けた鮑叔牙のような人間が滅多にゐない譯かはしい世の中だから。

【船英一路】

ハラデー・セール 及び
學校開始大特價賣出
廿六日より 九月四日迄
◆ガール靴
サイズ 八より十半 特價 一弗廿五仙より
サイズ 及び十二 一弗九十五仙
同 十一より三 一弗四十五仙より二弗四十五仙
同 三より七 二弗廿五仙より三弗四十五仙
◆ボーイ靴
サイズ八より十半 一弗九十五仙より二弗七十五仙
同十一より十三半 二弗十五仙より三弗七十五仙
同一より五半 二弗廿五仙より四弗二十五仙
□男女靴共大割引致します
バウエル街三五六 電話ツリニチ四四七七エル
名畑靴店

美味しいサラダは
ナレーの
メヨネイズを用ひて！
滋味に富み、香りよく、そして延びがよい
近くのグロサリー店で
是非一瓶
御買求め下さい



造船及修繕
日發ディーゼル・エンヂン總代理
スタントーバーク造船所

吉野御料理

ピアノ教授
經驗は豊富敎授は親切
トロント音樂學校

「米は米屋へ」
▲ハクマイ印 百斤入 五、七五
▲マル特印 同 五、四五
東へスプリングス街六四九
電話ハイランド〇八八九

御結婚式御披露用日本振袖賃貸します
長髮短髮電氣なしのオイルパーマネントウエーヴ
チエリー美粧院

助産
電話シーニア五八四六アール
マーファー街二三三 松岡久枝
電話ハイランド二五九八エム
マイール街二三一五 高橋貴志子
電話ツリニチ五二六九ワイ

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シーピーアール、
▲再渡航證明、移民宣手續、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等屆書、加奈陀政府出生屆手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續其他一般代理
晩香坡市バウエル街二三五
中山義一事務所
電話ツリニテー〇三九四
住宅ハイ二二〇七アール

Manufacturers Life
○御子樣の貯蓄心涵養のため
○御機樣の結婚費用積のため
○他日事業の資金に當てるため
○來るべき老境の準備のため
○御家族の生活安定保證のため
當會社は世界卅二ケ國及
日本の大都市に支店又は代理店を有します
生命保險
マニュファクチャラース
晩市アレキサンダー街三〇二 電話ツリ〇二八三
代理 信夫保險 事務所
日本人唯一の 保險士 信夫三郎

大勉強
杉山運送舍 舊天野運送
晩香坡市バウエル街二六八
電話ツリニチ一三〇五九

◆強力改良害虫驅除新劑液製
無味無臭無色人畜絶對無害
◆フライオサイド 一小鑵二九 大鑵四九
一ガロン 三、五〇
◆油虫南京虫蟻蠅蚊其他凡ゆる害虫の強力殺虫劑
食物衣服に無害野菜草花用としても費用されます
△フイルム各種
△現像燒付引伸
△ワタマンペン
△文房具小間物類
文化商會
バウエル街二五〇電話シー四〇八七

新着品御案内
下關特産の
◆ウニ鹽辛 一瓶三十仙
惡臭を去り、變質を防ぎ美味に漬かる
◆糠漬の素 一鑵三十仙
◆ツケモト 一函二十仙
□週間特賣品
此機を逸せず御買上下さいませ
◎干海苔(小判) 一帖 十五仙
◎ナルトワカメ 三把 十九仙
◎干サンマ 一斤 十五仙
優良品を廉も安く
香村商店
バウエル街二六九 電話ツリニチ〇〇九二

ドイツ・ロシア新協定の全文七ケ條

獨ソ兩國は常に情報の交換を行ふ

防共協定も全く空文化す

ドイツとロシアの不可侵條約は本日午前一時にモスコーで兩國代表の間印を終了し茲に完全に成立した、有條約の内容は次の如し

「ドイツ政府とソビエット共和聯邦政府は右兩國の平和情勢強化を熱望し且つ一九二六年四月の右兩國中立協定の基礎に於て兩國間に左の新條約を決定す

第一條　兩國は相互に何らゆる武力的手段、何らゆる侵略的行爲を避くべきを義務づけ何等かる一行爲と雖も相互に攻め合はず又は第三國と聯合して之を行はざる事

第二條　締約の一國が第三國により戰爭行爲を受ける場合他の一國は第三國を援助せざる事

第三條　兩國政府は共通利益に關し相互情報の交換を行ふ爲め常に接觸を保つべき事

第四條　締約國は其一國が直接間接に目標とする第三國と結合せざる事

第五條　締約國に共通を生ずる場合締約國は利害の相違方至は紛爭の交換は必要に應じて調停委員により解決する事

第六條　現行條約の有効期間は十年間とし締約國の一國が一年前の豫告を以て現行條約は總勢六百萬は動員し得るなどゝ云つてゐる

第七條　現行條約は可及的速に批准を完了する事、右批准書の交換はベルリンにて行ふ事

ふ、現行條約は調印に依り直に實施さるものとす

獨逸國、ロシア兩國間にて成文、一九三九年八月廿三日モスコーにて（署名）」

英國戰時準備

英國は既報の如く歐洲危機に直面して本日臨時緊急議會を召集し直に緊急國防權力法案を上程したが議會は夜に入り四百七十五對四票の壓倒的大多數を以て同案を通過し政府に殆んど獨裁的戰時權能を附與するに至つた、これで英國議會はチエンバレン首相を全的に支持してゐることが明白となつたわけであり政府は一九一四年の歐洲大戰當時と等しい全權力を有することになつたのである

英國政府は全國民の食糧供給割當側を斷行し交通機關運用も其の手中に收めんとし自動車等の徵用權も直に發動するであらう

更に銀行其他通貨に關する統制權も實施するであらうし將に戰時に必要な一切の獨裁權を握るものと思はれる　◇

ヒトラー總統

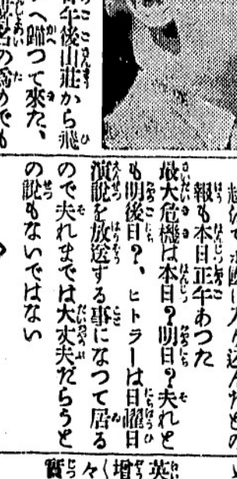
ヒトラーは本日午後山莊から飛行機でベルリンへ歸つて來た、獨ソ新條約批准署名の爲めであるらしいが、夫れと同時にヒトラーは愈ポーランドに對し正式最後通牒を發するものと見られる

ドイツの大軍は既に本日ポーランド國境に進撃の態勢を整へ一斉殺到せんばかりとなつてゐる、尚はイザとなれば總勢六百萬は動員し得るなどゝ云つてゐる

英國は地中海艦隊に更に軍艦を增派しつゝある、フランスの物々しい光景は別項記載の通りで實に言語に絶する有樣

◇

イタリーは昨日來海岸砲を各要所に据え付けつゝある、軍隊は續々と出動の構へを整へムソリニは本日更に陸海空軍の最高首腦と會見し作戰につき協議してゐる「イタリーはダンチヒ問題では斷然ドイツと行動を共にするであらう」とファシストの諸新聞は書き立てゐる



ムソリニ首相

ロバキアからポーランドを衝きルーマニアに至り必要に應じルーマニアの南部を占領するものと見られる

ドイツの大軍は既に本日ポーランド國境に侵入せんとしてゐる

なほポーランドは愈〻總動員を完了し戰時態勢を執つてゐるとの情報に依れば、ワルソーダンチヒには既に砲門を向けられつゝありドイツ軍隊の出動、クーダーター勃發は日前に迫るものと觀られた。

英國對獨宣戰布告

愈々近しと傳ふ

ドイツ軍隊進撃

本日の英國議會は戰時の構へに

政府に全權を與ふ

いよ〳〵迫る

歐洲第二の大戰騷ぎ

今日？明日？ヒトラー通牒說

獨軍先鋒既に越境

ポーランド國境に進撃の態勢を整へ五十萬の豫備兵を召集してゐる

一斉殺到せんばかりとなつてゐる、尚はイザとなれば總勢六百萬は動員し得るなどゝ云つてゐる

◇

英國は地中海艦隊に更に軍艦を增派しつゝある、フランスの物々しい光景は別項記載の通りで實に言語に絶する有樣

◇

イタリーは昨日來海岸砲を各要所に据え付けつゝある、軍隊は續々と出動の構へを整へムソリニは本日更に陸海空軍の最高首腦と會見し作戰につき協議してゐる「イタリーはダンチヒ問題では斷然ドイツと行動を共にするであらう」とファシストの諸新聞は書き立てゐる

（上）ドイツとロシアに挾まれたポーランド國の地位（下）本日新條約に調印した獨逸外相リツベントロップ

フランスは

戰時氣分橫溢

妻や子供と兵士の別れ悲壯な風景！

大動員令と共にフランス國内は今や全く戰時氣分橫溢、ごつた返して居る、軍隊は獨伊國境に向けて輸送されて居る、動員令の告示は到る所の公共建物に貼り付けられ、パリ市内の運輸機關は總べて軍隊の爲に使用され、バスの如きは六十パーセント軍隊用に使用され自動車、トラック等はすべて徵發令の下に置かれてゐる、地下鐵は從業員が召集された爲め運轉回數は減つて了ふといふ有樣である、一般公衆の長距離電話は動員と軍隊活動の爲め專用となつて使用不可能となつて居る

◇

最も混雜を極めて居る地方は獨ソ國境マジノ要塞線であつて到る處の驛は流れ込む軍隊ではみ出してゐるが、その驛も應召兵士と之と別れを惜しむ妻や子供や戀人で悲壯な風景を展開し

農夫は警官の督勵の下に小麥收穫を急いで居る、收穫を急げ、乾濕は問題でないと云ふのが命令であると

イタリーは本當に參戰すか

いろ〳〵な噂もある

今にも戰爭が始まるやうなニュースで一パイだ、玆にあちらこちらから小ニュースを拾つて見る

△ロンドンの英蘭銀行は本日レデスカウント率を二分から四分に引上げた

△ロンドンの英國博物館は空襲に備へる工作の爲め本日から閉館した

△スイスで開催の國際平和會議は本日ルーズベルト大統領に對し世界平和の爲め直に手段を執つて貰ひ度いと打電した

△アメリカは本日ドイツ在留米人の引揚げを慫慂した

△ローマ法王は本日午後七時（晩香坡時間の今夜十時）戰爭回避に關する新念スピーチを世界に放送する、晩香坡へも中繼放送の筈

△ロンドンの船會社はドイツ及バルチック海向け汽船の出帆を悉く差し止め途中にあるものもレヂオで呼戻した

△イタリーはドイツが戰爭すれば本當にドイツの爲め戰ふか、本日いろ〳〵な噂もあり或ひは防共協定を脫退するかも知れぬといふ話も傳はつてゐる、ドイツとは軍事同盟も結んでゐるが先の歐洲大戰の例もあるので多少疑はれてゐるらしい

香港の婦女子引揚

本日のロンドン來電に依ると香港總督は香港の英人婦女子に對し今のうちに引揚げよと命令を發したと云ふ

チエンバレン首相は本日の議會に於て

チエンバレン首相

ヒトラーは東部歐洲に對する自由行動を要求して居る、今や英國にとつては戰爭の避け難き立場に立ち至つたと悲壯なスピーチを爲し斷然緊急事態に直面した政府は左記事項に關して緊急權能が必要になつたと法令上程の理由を說明

（一）鐵道及一切の運輸機關の管理（二）食糧供給の管理（三）空襲に對する國防

イタリーは本當に參戰すか

いろ〳〵な噂もある

新條約と防共

獨ソ不可侵條約の第三條と第四條は明かに防共協定を反古にするものだと見られて居る

五面春秋

◇けふダン・タウンは安寧があるセイもあらうが、英獨戰爭が起りはしないかと心配した市民たちがゾロ〳〵街に溢れて居るそうな

◇ピクトリ・スクエヤーの大戰記念塔の前には、けさ早くから多數の歸還兵らしい人が集まつて默然と佇んで居たそうな、何を祈願してゐるのか？

◇假令英獨戰爭が始まらなくとも、ダンチヒ問題で獨々しい時、日本が獨伊同盟に加入して居なかつた爲め在留同胞は幸い思ひをしなくて濟むと安心顏で語る人もある

◇

フランス二百萬の兵を動員したとの情報がある

◇

ポーランドは英佛が軍事的援助を爲さゞる限り今や狼に呪まれた羊同樣だ、しかし表面上弱味は見せて居ない、既に百餘萬の動員を行つた同國は更に本日

◇營業案內◇

▲前川商店の秋向雜貨と寢具用品の大賣出しは明後廿六日（土）から開始、ストックは何れも豐富に取揃へて大特價で賣出すと（三面廣告參照）

求　野菜及果物店配達ボーイ　名入用　電話ケリス二六三六

求　充分經驗ある家庭働き娘入用　高給拂ふケリス一八七五

求　裁縫婦人十五名　電話ツリニテ一三一六

教師三名招聘　市內及地方の日本語學校に於て教師三名を至急招聘したし、御志望の方は履歷書を添へ青木明和學園長宛御申込ありたし

募集　□ンゲル切り出しカンツラクター　新場所ステープホールス中田キヤンプ申込所　蛭崎商店

結婚案內狀は　大陸日報印刷部で

▲新式ホテル、ルームスの特安資　間數五十、場所絶好、內外に面し各室明く廣い家具最新鮮リース付　資金　三千五百弗

仲介業　水原事務所　晚市バウエル街二四三　電話シーモア三四四七

日本行船切符取扱店

貯蓄　野菜　フルーツ卸商　堅實なる經營は安心して取引出來ます　晚市東ビクトリア街二五二　高橋

ヨークシャー　貯蓄貸附組合　電話シーモア六一八八　日本人部代理　平松儀作

結婚及葬式用花輪　バウエル街三一〇　中村花屋　電話シー五九三五

ピアノ並にセオリ　教授　トロント音樂學校　ATCM　濱垣幸子　晚市バンドラ街二一二三　電話ハイランド一〇七三エル

シンガーミシン　日本人最古の經驗ある代理人から求めになれば即座に修繕其他の事が間にあひ若樣の御便利御德でありますミシンの事は御電話次第速刻御相談にお伺ひ致します　電話ハイ五九七八アール　フランクリン街一七六六　柳澤元仁

法律事務所　エヂー　ヤング　ドミニオン・バンク・建物內一〇〇九號室　電話シーモア二七八七（日本語を話します）

Singer Sewing Machine Co.　393 Powell St.　Shop Phone Sey. 1326

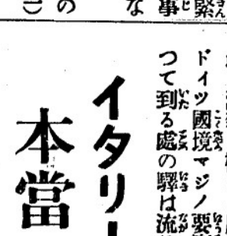
本社は日本人各位の御便利の爲め各種ミシンをバウエル街ショップに取揃へて居ります　新ミシン取換へに古ミシン求めの方は最寄店に御用命下さいて居ります　晚市バウエル街三四二四　一般公認代理業　奧村事務所　電話シー二八豐敷　住宅ハイ三〇六三アール

○土地家屋、ルーミングハウス○各種商店プレス屋等見込ある場所に安價な商物件あり○次災自動車盜難保險　晚市バウエル街三四二四　一般公認代理業　奧村事務所　電話シー二八豐敷　住宅ハイ三〇六三アール

晚市バウエル街三八一　曾我運送店　電話ツリ四七八八アール

越　バウエル街二三八　運送業　電話シー三五二八

晴れの御結婚寫眞は技術優秀の商評ある　遠山寫眞館　コロンビアスヂオ　電話シー二七二三　自宅ヂキスター一八五〇エル　晚市メーン街二一三



顧の客の廣告の多きは優秀の證據多

○今回日本人タキシー營業は全部（メーター）に依つて料金を申受ける事に致しました

名畑タキシー　ハイランド〇七六五

オーケータキシー　四第二街一六七七　電話ベエビユ五九二七

シヨウワタキシー　シーモア二八八七　バウエル街二六一

高田タキシー　電話ツリニテ〇八三六　シーモア八七五七

ヤマタキシー　電話シー一四一四　一四一五

人員募集　二十名　シングル切一コード一弗七十仙　切り出三弗八十仙食料共同持ち　スチルワーター蛭崎商店に御照會

求　女ブックキーパー入用　バウエル街二一一照會

求　野菜及果物グロサリ店配達ボーイ入用　電話ベー八六三三

◇今回日本人タキシー營業は全部（メーター）に依つて料金を申受ける事に致しました

名畑タキシー　ハイランド〇七六五

オーケータキシー　四第二街一六七七　電話ベエビユ五九二七

シヨウワタキシー　シーモア二八八七　バウエル街二六一

高田タキシー　電話ツリニテ〇八三六　シーモア八七五七

◇ハツブス摘大募集　△八月二十八日開始　△極貸二仙七噸五毛　晚市出發は午前十時永見菓子店前

荷物は名畑運送店が集めに參りますが午前九時迄に申込んで置いて下さい、其他の地方も廿七日午後五時迄に御申下さい　△ハツブスの出來は近年にない豐作です　△御用の際の長い事や詳細は最寄りの申込所で御聞合せ下さい

サーデスジョン・アイハツス　ハツブ會社　申込所　バウエル街一〇九四二番地　古屋商店　同　ホーマー街四二三三　ポートハモンド　ミツシヨン市　古屋商店　大野健藏　永見菓子店　亜山英之助

寫眞術中最も六ケ敷くして最も自然で可愛く撮れるのは　子供寫眞です、當館では子供寫眞に趣味を持ち研究してゐます　バウエル街三一四　村上寫眞館　電話シー七七四五　自宅フエアモント三六二七エル

滋養百パーセント　マルサツプドミルク　バナナ　特製カスタード　結婚式用ケーキは美味しい品を調製致します　晚市バウエル街三九二　ニューケーキ　住よし

舞踊教授所　若柳流師匠　外海トミ　晚市バウエル街三五三三　ツリニテ四七八九エル

花　花束花輪　一切の御用は是非當店へ　晚市西第四街二三五六（キヤラノ圖書館前）　金魚小賣　イーノー花屋　佐々木勇三郎　電話ベービユ七八八一

ウイルス煙草

一度吸つたら忘れられない
ウイルス・フアインカット
色の良いリアヂニヤ草煙は
何ぞも云へない芳しい
口わたりがします
シガレット紙で巻いても
サユーブを用ひても
常に御満足頂戴ます
ポケットには
十仙及十五仙包を
家庭には経済的
な半斤入罐を

女の教室

吉屋信子　（119）

女学校の新学期が始まつた。

その朝早く、藤穂は、寄宿舎の窓の明るい卓上で、朝食の上へかがみ込んで、真剣な顔をして勉強してゐる。

「どうです？」

寄宿舎の舎監が、傍に立つてゐる。

藤穂は、寄宿舎の隣室の、同級生の一番仲よしの、いささか後にはひけぬ責任を感じてゐる。

「もし、寄宿舎でなかつた日には、東都を夜逃げだわ」

と、おびやかされてゐる。有為子からも、それは心配してゐるのだつた。

藤穂は、医家が授かつた、おみくじを開く前程を、胸がどきどきしてゐる。

朝食の膳が片づいた。

女学校一年時代の夏季診療に、親切人となく児童の検査を担当した眼には、簡単だつた。

——楕円形の青い虹彩の黄いろの、その眼の内面と瞳孔との間に容積を持つ晶体が、はつきり見ねば！

たしかに、それは絢ふことなき輪廓の受精だ。

藤穂も、あの眼鏡先で耳にした一番から、いささか後にはひけぬ責任を感じてゐる。

有為子からも

「もし、寄宿舎でなかつた日には、東都を夜逃げだわ」

と、おびやかされてゐる。有為子も、それは心配してゐるのだつた。

藤穂は、医家が授かつた、おみくじを開く前程を、胸がどきどきしてゐる。

眼鏡の焦点が合つた。

女学校一年時代の夏季診療に、親切人となく児童の検査を担当した眼には、簡単だつた。

——楕円形の青い虹彩の黄いろの、その眼の内面と瞳孔との間に容積を持つ晶体が、はつきり見ねば！

たしかに、それは絢ふことなき輪廓の受精だ。

藤穂は、ぱつと上気した顔をあげて、院長に挨しげに告げた。

「やつぱり、さうですか！そうやあ、よかつた、初往診のお手柄！ハ、、、」

院長は、日の丸の扇で烟がぬばかり、御機嫌で褒めたてた。

ホツとした、藤穂は立ち上ると、廊下へ入つた。

サントニンの壜を棚から取る前に、まづ受附窓の電話の前に立つた。

府立第大を呼び出して、細菌学の研究室へつないで貰ふのだつた。

「もうだつたの？」

利洋お菓子一切
豊富に取揃へて
ございます
バウエル街三五七
鈴木菓子店
電話シ七九三五

月刊雑誌資料無料

「ホ、、、さうしませうか！」

藤穂も笑ひくづれる。

× × ×

その翌々日の夕刻——

松田氏が帰宅すると、玄関先に坊やの手を引いて出迎へた真さんが、

「貴方、出ましたよ、気味の悪い虫が、かい虫が寄生虫も——」

と報告した。藤穂の興奮した顔を見ると、松田氏は、ただ〳〵驚いた。

「ホウ、さうか——やつぱり！」

松田氏は、ただ〳〵驚いた。

坊やの態で、靴も脱がず玄関先に立つて考へ込む。

「坊やが、すつかり気持よささうに、元気になりましてよ——」

その通り、手術の顔色に血色は生々とのぼり、上機嫌である松田氏は、いきなり叱咤するやうに、奥さんに浴びせかけた

「いゝか、お前も少し本でも読んで、家庭科学や生理の知識を得なければいかん、女でも教育によつては、さうやら人並に役に立つやうだ——」

さうやら人並に——と、そこに男の威厳を保つ松田氏だつたが、彼の眼から一枚の鱗が落ちた感じだつた——地底の過去の遺跡を探るに専念して、地上の女性の進歩を知らずにゐた自分は、男として損をしてゐたと——考へたらしかつた。

風のやうに

片岡鉄兵　（93）

無邪気な鬼（二）

お前の病気は、だから、お妾根性のさせることだよ——昔米はさう云つて、さうだ、俺の云ふことを聞くか、それとも、俺と別れてでも、狐社長の御食になる気か。お前の病気を治すのは、社長のポケットマニーで買はれる薬ではない、俺が治してやらうといふんだ、さあ、お前は俺と別れられた義理ではないんだからね。さあ、黙つてゐては分らない、何とか返事しなと、詰めよつた、そのとたんに、入口に瀬戸が訪れて来たのだつた。

さて、障子のかげに、ひつそりと耳を傾けてゐるのだが、ついに好奇心で障子の穴から覗くのだいて見て、わつと驚いたのだつた。銀座の、あの女がゐる！

「どうも、君は、相変らず、僕の親切を疑心暗鬼には受けられないと見ねるね。しかし、僕は、今日は無理にでも、君を入院させずにはおかないつもりで、やつて来たんですよ」

瀬戸が云ふ通り、ゆみは矢張り気が進まないらしかつた。然し、今までは瀬戸の親切を拒はるときは、いつも露骨な反感を表してゐるのだつたが、今日はいつもと同じ拒はるにも、ひどくおだやかな顔いろだつた。それだけの変化は、快解され通して来た瀬戸には、大きなそして不思議な喜びである。

「意地を張つて、取り返しのつかない身体になつてしまつてはね、元も子もなくなる。ね、さうだねね」

と瀬戸は、そこにお茶を持つて来た民江に同意を求めた。民江は、

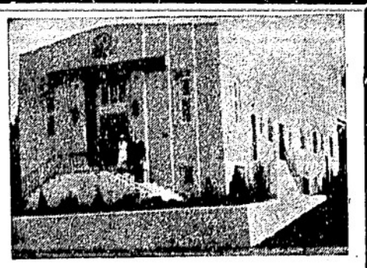
「さうでございますとも」

と答へたが、ゆみに気をかねるか、あまり乗気な調子でもなかつた。

ゆみは、工場を休んで以来、すこしもよくならないばかりか毎日、熱が、最高、八度ちかくものぼるといふ容態で、それを

氷
水西瓜　寒月
白玉　宇治里
金時　イチゴ水
山前救しますメーシン街
長谷川
二一七
電話ツリニテ二一九七

最も古い歴史ある
セントラル・パーク葬儀社
日本人紹介者　久岡　支治
支配人　スウエーン
電話デクスター二一〇七


The Chapel of Repose

御葬儀は
日本人嗜好に最善のサービスを致します弊社に御用命下さい
遠方にても少しの不便もない様に致します
電話次第御伺ひ致します
晩市キングスウエー
三六四二

日本郵船　C.P.R.
アメリカンライン
日本行船切符
C. P. Express
Money Order
販賣代理店
横濱正金銀行預金
送金無手数料取扱

和洋食料雑貨精米
新西院市
西口商店
電話　壹壹六壹—一八八五
住宅九〇九X

開業廣告

△永らくアームストロング葬儀社に働き、日本人にはお馴染のクリヤリ氏は今回市内東ヘスタングス街七四二番に

ホーム葬儀社

を新築、總て近代的設備、葬儀用品一切を取揃へてゐる、棺の用意もあり、六十弗、八十弗以上各種

△親切丁寧にサービスを致します

ホーム葬儀社
電話ハイランド六一九四

公債　確實な相場は本社より
■日本帝國政府保證附＝各種公債賣買
■確實信用ある公債買入は幸福への近道

種類
英貨、佛貨、米貨、
東京市債、横濱市債、東京電力、
宇治川電力、東邦電力、臺灣電力、
信越電力、東洋信託、満鐵
■利廻年二回＝年四分以上七分（利付）
◆御照會の際には「ジャパニース」と御呼び下さい

公債　グレハム・マクドナルド會社
賣買　日本人代理部
晩市ホール建物内二一六—二〇
電話ツリニテ二七一一二

VANCOUVER PACIFIC
PAPER CO. LTD.

紙の御用は當會社へ
包紙、紙袋、色紙、油紙、トイレットペーパー、其他ペーパー類一切
クラフ糸、カザリ糸、文房具種々御賣
リター街一六〇
晩香坡パシフイック・ペーパー會社
日本人部代理
堀壽次郎
本社ツリニテー六二二一
自宅ツリ四七九〇アール

日本品愛用
○伊豆スルメ　○鰹節
○剣先スルメ　○花鰹
○青板昆布　○イリコ
○利尻昆布　○淺草のり
○厚板昆布　○椎茸
○白板昆布　○切麩
○青切昆布　○八千代麩
新魚市場
ニューフイシマーケット
晩市バウエル街三九四
電話ハイ四五六七四五六八

最新型　タイプライター
學生諸君の
實用向として
特價　六十五弗
五弗掛込五弗月賦
數に限りがありますから至急御申込み下さい
レミングトン會社
代理店　大陸日報印刷部
電話ツリニテ五五三三

安價にて堅牢を誇る
アトラス　タイヤー　一手販賣
朝日グラーヂ
電話ツリニテ五五四五
自宅ツリニテ四八七六エル

△新古自動車取次販賣
一九三五年式シャブレー、ベックアップ　四百三十五弗
一九三一年式クライスラー、六シダン　三百五十弗
一九二八年式シャブレー、コーチ　百廿弗
●御利用下さい＝キングビーモーターテスト
右のテストにて古車も新車同様に走ります

Atlas Tire
AND BATTERY

新入荷藥品御案内
胃腸藥
アペチン錠は純良ヘーフエ劑にして榮養價値に富み、ビタミン（ビー）神經榮養素レチチン、グリコーゲンを多量に含み消化不良、食慾不進、便通不整乳兒榮養障害、綠便、發育不良の良藥　一弗
耳疾藥
ドイツ式點耳劑バロヂンは最も藥効の正確、敏速なる唯一の原因療法なりと大庭博士推奨の優良藥　一弗五十仙
蓄膿藥
オートゲンの服用により体内の新陳代謝を旺盛ならしめ耳鼻咽喉に漸次波及し膿自ら減退し苦痛なく手術を要せずして短期間に所期の効果を收めしむ　二弗七十仙
まむしの黒燒
古來より有名な榮養強壯劑
身神の衰弱に、性力の減退に　二弗五十仙
晩市バウエル街三九〇　電話シー三八三一
カメラ　なら近藤で
現像燒付引伸
近藤で
特許賣藥店
O. KONDO 390 Powell St. Vancouver, B.C.

ソーダスト
薪炭
電話にて御注文下されば直ぐにお届けいたします
薪炭會社
バウエル街一三五五
電話ハイ四五六七四五六八

パウエル製材

廣東進軍抄　次野柴軍著　八十仙
麥と兵隊　同　七十五仙
銃後國民讀本　文部社發行　六十五仙
ユダヤ問題と日本　宇都宮希洋著　一弗四十仙

内田書籍店
電話シー四一一三〇
347 Powell Street,
Vancouver, B. C.
S.UCHIDA

■ハツプス摘始め
○サーデス八月廿五日＝廿四日にキヤンプに来て頂く事
○スーマス八月廿八日＝晩市出發廿六日、廿七日に到着の事
○バスの乗車は本派佛教會の前
○キチラノ方面は岡田治市方前
フエヤビウ方面は九橋商店前
○スーマスは都合では廿六日に始める事になるかも知れぬ其節は申込所から御知らせする
フアガーハツプ會社人員募集
代理人　岡野　福藏
電話ベビユウ六七一七
申込所　バウエル西村重太商店
第一街一四八　澤　寅吉
第四街一五三九　フエヤ五九四九アール
ミツシヨン宮川彦次郎　友光治一
ラスキン＝ウオノツク　田原豊年
ヘネー　田中壯七
ハモンド　岡橋增藏
新西院＝サレー　福永權平　津村良平

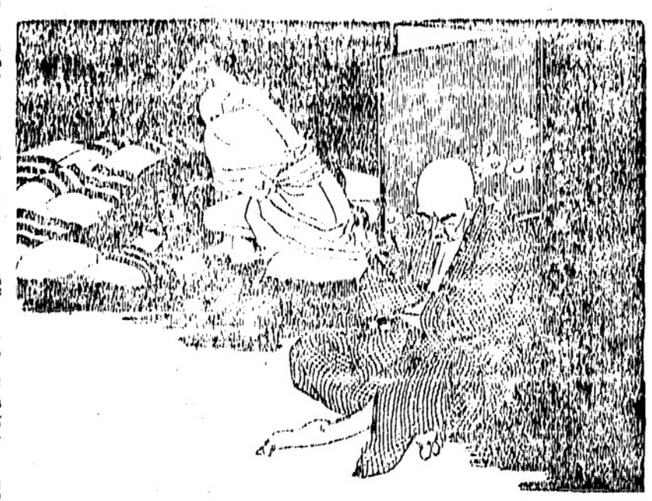
各種電線取付修繕
迅速確實にお安くいたします
公認電氣學校卒業
シカゴ、コイン　上田繁
電球　晩市東カドバ街七〇六
販賣　電話ハイ五七六八エル

◆學校用品賣出し　（月迄末）
スクール　オープニング！
入學に進級に　一路勉學へ
良い品をれ安く
古屋商店
ノートブツク　三六ページ　特價　一打　三〇仙
同　八八ページ　同　一打　七〇仙
同　二三六ページ　同　一冊　一〇仙
タブレツト　七〇ページ　同　一打　四五仙
ルースリーフブツク（カバーシーツ付）　同　一冊　一五仙
同　極上一打　四〇仙
上　同　二五仙
ペンシル　ルーラー　萬年筆　スクールケース　スクールバツク
共他インク　ルーラー　萬年筆　スクールケース　スクールバツク
或は御通學用スエーター　パンツ　靴　靴下
等總て特價で御願致します
バンクーバー　電話シー二九三三

蛇道萬華鏡

（00）

津村京村作
篠塚愼平畫



（承前）（十）

全く、長十郎と貞念の關係は實に因果な關係だつた。早く言へば敵同士——殊に貞念に取つては殺うだつた。あの東海道の北堂で計らずも其之助に會つて以來、絶えず怨心を拭ひ捨て、過去の一切を悔ひ改めようとしてゐたところへ、バッタリ長十郎が現れて、無理矢理詰めの談判にもし眼だと言ひ張れば、俺の生之助に殺意が漲る。切迫つて

「畜生にせよ呼んでやがる！」さう思ふと、急に殺意が衰へた憎い奴だが、不思議に仲間を繼しがる。改心するのが厭ではなく、仲間が減るのが厭なのだ。「因果な奴だ！」さう思ひ乍ら遠々その晩も、つひ何んにもせずに寢てしまつた。

そんな風で、つひずるべ離れすにゐる二人だつた。——で今も長十郎がいふのである。

「畜生にせよ呼んでやがる！」さう思ふと、急に殺意が衰へた憎い奴だが、不思議に仲間を繼しがる。改心するのが厭ではなく、仲間が減るのが厭なのだ。「因果な奴だ！」さう思ひ乍ら遠々その晩も、つひ何んにもせずに寢てしまつた。

そんな風で、つひずるべ離れすにゐる二人だつた。——で今も長十郎がいふのである。

で呼いた。實際貞念は、それが一番心配だつた。折角改心して出家になつた其之助が、もしひよつとしてこんな奴に飛出されあの秘密をバッと世間へあばき立てられたら、それこそ何も彼もがおしまひだ。憎惡輕蔑さ、怨ち縛り首にでもなるだらう。——然う思ふと、眠でも長十郎の意に從ひ、そつぽ向してゐなければならない氣持になつた。が、それにつけても、今又こゝへ飛こんで來た銀藏が、つひ口走つた先刻の一言！「——仕事と言ふのは、あの延命院の日當」——さう言ひかけた一言が更に貞念を驚かした。

「こいつも油斷はならないぞ！」心で、さう慾しめ乍ら、ちつと貞念は銀藏を見た。

が銀藏はカラリとして、

「然うか、そいつは全く物好ださうだと知つたら俺だつて、何もそんな所は狙やしねゝ、なア道念助！　悪く思はないでくんねゝよ」

と、如何にも調子よく言ひかけた。

「うん、だが、そのお前が俺の事を知つてるつて事は、そりや一体どんな事なんだ？」

氣になつたから貞念は、一寸さう言つて訊いて見た。

「何ア、そりやホンの一寸した事なんだ。別に大した事でもありやしねゝ！」

さう言つて銀藏は、すぐ話を打ち消した。

「……？」

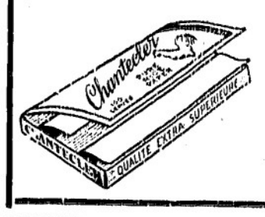
だが貞念は、益暗い心になつた。

福岡出征軍人家族慰問金應募者芳名

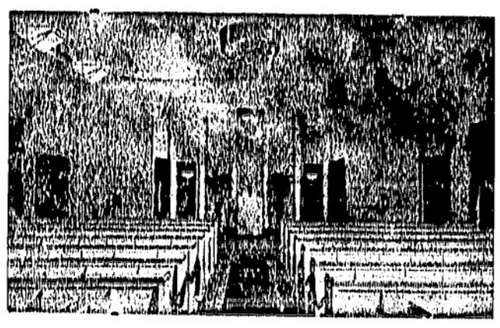
△五弗宛　田代英治、上村市次郎、小川きよ、久岡市郎平大熊洋一、深見勝兵衛、稻葉正信、寺木久市△三弗宛　八幡益雄、伊藤登三郎△二弗宛　中島岩太郎、正野文雄、荒木種吉、西田佐太郎△一弗宛　内田實（以上ミッション）△三弗宛　田中時一、上田米藏△二弗宛　藤木半三郎、市川岩太郎、田原登、織田桐太郎、大森豊吉（以上クインスボロー）△五弗宛　馬渡周藏△三弗宛　森下治市郎、西尾荒吉、原田作次、畑中實、久永英治△二弗宛　佐藤恒太

シャンテクレー
シガレット紙
贅澤な喫煙者はこの薄紙を使用される、何故なら紙質が軟く燃え殘り物が充分に付いてゐるからである

Chantecler
CIGARETTE PAPERS



自動式に紙が出て來る
手帳式ブック
が僅か五仙



新築禮拜堂
△晩香坡一を誇る近代的内部最非一度御覽下さい
△御通夜、葬儀には無料にて御貸致します
△荷數十人のお茶のサービス出來る別室の用意がしてあります
△葬儀には七人乘タキシー一臺無料提供
過去廿七年間の日本人各位の御愛顧に酬ゆる爲め最善のサービスを致します
料金は五十弗、七十五弗、九十五弗以上
晩市ダンレビー街三〇四
アームストロング葬儀社
電話バイランド〇一四二

◇通辯一般代理業
日本行船切符取次
濱岸事務所
アレキサンダー街二四〇
電話ツリニ四三七四アール

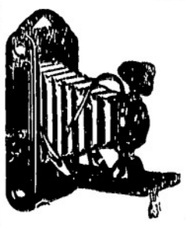
◇ビルダー　サプライ
各種ランバー、シングル、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切最も安價にて販賣いたします
御住宅、鷄小屋、バーン等の請負を專門として居ります
電話或は郵便にて御通知下されば　遠近に拘らず早速セールスマン出張の上　見積値段運搬其他萬般御相談に應じます
ファンリッチ製材會社
瀧本與次郎
ピーシー州ポート（ネーランク・タウンクインロード角
電話（ヤード（ネー七九
（ミル同一三五エール
（自宅同六八

小生儀過日右腕の骨を折り早速林醫士の診察治療を御願致し所僅か一週間にて全治致し林醫士の折骨打撲に對し卓越なる技倆を推稱し感謝しました林醫臣醫士は斬傷腫物筋痛挫骨皮膚病一切及神經痛兒童の疳等に獨特調製に依る藥は實に大の効力があり又打撲傷や挫骨筋違い等には長く經驗あり如何なる重傷にても速かに全癒する事は嚴く日本人間にも熟知の通り右の樣な際は早速林醫士の來訪を御願する事を御勸め致します特別に日本人を歡迎御待し親切に治療致します
ステブストン　秋本重則妙醫

割薪値段
ヒーターブロック　一コード　五、五〇〇
同半　三、〇〇〇
ファースラブ　一コード　四、五〇〇
同半　二、五〇〇
エヂング　三、五〇
ウツドランド街埠頭
東ベンダー街九二
電話シーモア二四九一
恭頌林弼臣

B.C. WOOD & COAL CO.
インサイド　ファー
同二等品　一コード　六、五〇〇
同半　三、〇〇〇
同三等品　一コード　五、〇〇〇
同半　二、七〇〇
御電話下されば早速お屆けします
ウツドランド街埠頭
エー新炭
電話ハイ〇九一五
夜間ハイ四四一三アール

晩香坡市バウエル街三八〇
昭和倶樂部
電話シーモア四五三三
（事務所用）電話ツリニチ五五二一



現像燒付
賦心
賦意
誠寫眞館
晩香坡市バウエル街二四九　電話シーモア四八八四
249 Powell Street Vancouver, B.C.

鼻が惡いと頭腦にさはる
外用ハヌース（HANUS）定價一弗二弗
ハヌースは種々の鼻喉疼痛に對して鎭靜の作用
鼻喉黴菌に對して殺菌消毒力
鼻喉炎症に對して自然に治す力
鼻喉のせきに對して靜める力
鼻喉血行の不調に對して調へる力
寒から夏にかけて鼻が惡くなる人が激增する時一日おくれは悔を千載にのこすのみ、速に外用ハヌースを御使用せられよ
寫眞現像燒付迅速美麗
其他各附屬品一切
晩香坡市バウエル街二四九　電話シーモア四八八四
心堂

製造販賣
かまぼこ
前川魚肉店
バウエル街
電話ツリ〇三八七
同　〇三八六
住宅ツリ四七八七アール

先祖傳來
名灸骨接筋違
男女諸病一切及び子供のかんの灸
慢性胃腸病、婦人病、つわり
ビーシー公認マッサージ
晩市プリンセス街二四一
電話ハイランド三〇四二エール
鎌倉

晩香坡市ゴーア街三二九
加奈陀日本人會
電話ツリニ〇〇七二
Canadian Japanese Ass'n
329 Gore Ave, Vancouver

和洋雜貨食料品
東洋商業會社
P.O. Box 46,
Port Essington, B.C.
主任　大橋松次郎

和洋雜貨食料品
漁船用具一切
ボートエシングーン郵國三一
岸本商店
P.O. Box 31,
Port Essington, B.C.

御料理すし　其他
林家
バウエル街三六二
電話ツリニテー三七〇〇

晩市ゴーア一三〇
樂々
電話ツリ二七〇六

ちり鍋、すき燒
玉川
ゴーア街一二八
電話ツリ四七九アール

御料理
日の丸
バウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

スキヤキ小料理
こまつ
バウエル街參參〇
電話シー二〇〇三

天狗
バウエル街二五〇
電話シー三五三八

編笠うどん、そば、丼物一切出前いたします
一富美
バウエル街三五〇
電話シー一三二五

朝早くからお仕度が出來て居ります
簡易食堂
つばめ
現代的料亭
バウエル街二五八
電話ツリニテー〇五六一

惣菜料理うどん、そば、天ぷら、丼物出前一切
富美
バウエル街二五八
電話シー一三二五

コーヒー、チーパイ、ケーキ
シスターカフエー
千歲湯
晩市バウエル街四二七
電話ハイ四〇二二アール

大工一式
道具
晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ツリニテ〇三三七

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘らず配達します
パウエル街三四二
パウエルベーカリー
布田
電話ツリニテ五五三一
住宅西第七〇街一一九八
自宅電ランガラ〇六〇七エール

シンガーミシン
日本人部代理人
堀七藏
西第廿街三五一
電話フェヤ一三八六エール

和洋御菓子
特製祝菓子並に祝餅
大勉強致します
晩市バウエル街三三一
電話シーモア〇八六一
武藏屋

◆魚類
◆肉類
◆青物類
◆カマボコ
◆和洋食料品
バウエル街二六二
茶木魚店
電話ツリニテ五五四二

鮮魚　肉類　野菜類
食料品一切
バウエル街三五三四電話ツリニテー五七八四
自宅電話バイ四九七九アール
スター魚肉店

晩香坡市バウエル街三七八（三七四）
男女着類一切
澁谷商店
ツリニテー5525

男女子供靴一切
晩市バウエル街三八〇電話シーモア八六一九
加藤靴店
住宅東カノー街七九一　電話バイ〇九二七エム

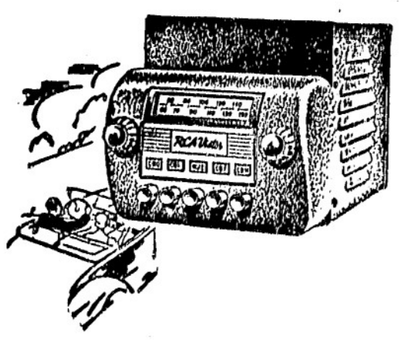
晩市バウエル街四六三
●運送社へ
電話バイ一五六六

貴物運搬は凡て確實親切勉强で好評な

●高等南京料理
コックは新道の腕き、で料理は貴樣のお口に合ふやう
美味に調理　値段は大々的勉强
晩市バウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

和洋雜貨　食料品
西村商店
晩香坡市バウエル街五六六
電話ハイランド一三七五

颯爽！
新綠のドライヴに
ビクター・オートレヂオ
ビクター　レコード
バウエル街三〇一　電話ツリ〇〇五五
三十四弗五十仙
五十七弗五十仙
ミカドツランスフアー　電話スプラストン二
大正堂



今は亡き飯野少將の愛息が感激こめて社頭の父の綴方

勉強して立派な軍人になる

（東京通信）靖國の社頭に憧れい「お父様」と對面した飯野の遺兒たちは感激を胸に七日それぞれ歸國したが、中にも感激の神經過敏になつかれもせぬ靖國神社に祀られてゐないお父さまに心の對面をはたした東京府表彰飯野賢十少將の遺兒昭二（一〇）君―中野桃園第一校―はその日の感激覺めるまに「父に逢ふ日」の題の下に作つて自宅に祀る父の靈前に捧げた、そして七日の書きさがりには第一の壁二（一〇）君といつも通ふ温水プールに出かけたが、この日はじめて五十メートル泳いで遊級一本進級の印をもらつた

「父に逢ふ日」

中野桃園第一小學校六年　飯野　昭二

今日はうちにしてゐた六日、きのふの嵐もさつて朗らかなすがすがしい空氣を胸いつぱいに吸ひこんでいつものやうにレヂオ體操をやつて原田先生といつしよに靖國神社に行つた、拂き清められた嚴かな社殿、あの中にやさしかつた父が祀られてゐるのだと思ふと胸がいつぱいになつてくるのが感じられた、大村益次郎さんの銅像のところにゐると三々五々と東京府の遺兒たちもあつまつてきた、みな僕と同じ心の若い、お話をしたかつたけれど何とも言葉が出なかつた、拿破あつまつてから軍人會館（行つて皇后陛下から御下賜の御菓子の優待式がわり、いろ〳〵と御話をうけた、このときの光榮にはたゞ〳〵感激のほかはなかつた、嬉しさのあまりにみなの顏も輝いてゐた、式がすむと靖國神社で父と對面した、風になびく各隊の旗が靜々として神前にぬかづく我が頭の中に父の面影がはつきりとうかんできた、「お父さま、僕もこんなに泳げるやうになりました――」ともう一日早かつたら自慢して報告に來たのに、昭二君は二十メートルも泳げなかつたがいまでは二十五メートルの短水路プールを完全に往復できるのだ

「お父さま、僕もこんなに泳げるやうになりました――」

とも

Japanese Trees Interest Teacher

Miss Margery O. Scott, one of the five Canadian high school teachers now in Japan on an inspection tour, wrote the following letter to the Japanese Parents Association of Richmond. Written at the Chosen Hotel in Keijo, Chosen, on August 1, it said:

I feel I have neglected you in not writing before now but if you only know how busy your fellow countrymen over here have been keeping us you would soon realize how hard it is to sit down and write letters. I might also add it has been so dreadfully hot one feels it is a chore to sit down and write. When you are finished with writing you are so hot and damp you simply have to go and have a bath.

We have now completed a fifteen-day tour of Japan. We will have a few days more when we return from Manchuokuo but they will be mainly spent around Tokio and Yokohama.

First let me say I have found the people so charming and nice they just overwhelm you. We make so many friends everywhere we go it is hard to leave. I know we are all dreading the day when we will have to say goodbye to Japan. Everywhere we go so many people want to meet us and to entertain us that we are kept busy every minute. Our officials try to give us some free time to rest in but we are always receiving unexpected invitations that take up this time or alter our plans.

Then I must remark on the modernization one finds here. Somehow we all expect to find Japan a land of fairy stories and then to meet streetcars, electric trains, modern air-conditioned hotels, stores and trains just sets one back. And yet right combined with that we find kimonos, wooden shoes, dear little native restaurants and real Japanese bamboo homes and dainty rock gardens. It seems a strange combination at first but one soon realizes a country today could not get along without those conveniences and Japan has been very quick to adopt those best suited to her needs.

As I sit now I can look out across the city and I hear the roar of traffic, see large neon and electric signs which would make me think I was right back in Vancouver if it was not for the fact that the characters are Japanese, and I sit in a room of a very modern hotel enjoying electric light and electric fans.

From the other side, when one leaves the towns and gets out into the country or small towns we find real Japanese life. The lovely shrines, the beautiful parks, the quaint bamboo houses with their matted floors and sliding walls and the lovely green rice fields all spell Japan.

Every day we say this is the most exciting and most interesting day and then the next day we find something else to take our fancy. The trees in Japan interest me a great deal. There are so many evergreens. They are not so tall and straight as our trees but rather shorter and spread out like graceful dancers. They are all laid out so carefully even on the hillsides where reforestation projects have been carried out.

The mountain scenery reminded me a great deal of B. C. It was very beautiful. The roads wind around the most impossible spots and they are all very good to travel on. In the same way the trains wind through many beautiful places and the number of tunnels is astounding.

I could go on telling you many more wonderful things but somehow I feel that they are more easily described by spoken word than written and I will reserve that pleasure for when I return home.

FAREWELL PARTY TONIGHT FOR TWO DEPARTING YPS MEMBERS

The Powell Y.P.S. farewell banquet for Miss Kimiko Iwamoto and Miss Eiko Kanno, who are leaving the city to study for the nursing profession, will be held tonight at the New Pier Cafe from 6.30 p.m. Miss Iwamoto leaves tomorrow for Lamont, Alberta, and Miss Kanno leaves for Toronto early next week.

TAIRIKU NIPPO

Vol. 34 No. 9822 THURSDAY, AUG. 24, 1939 Vancouver, B. C.

Japan Students Cannot Accept

Vancouver will not be favored by a visit of a select group of Japanese-American conference students on September 9-10 as had been planned. Word to that effect was received here this week.

Four students and a professor had been asked by an interested group here to come to Vancouver while in Seattle preparatory to sailing for Japan on the Helan Maru to give accounts of the proceedings at the conference which concluded last Saturday at the University of Southern California.

Various reasons prevented acceptance of the invitation, it was indicated to local officials. However, a blanket invitation was issued to Vancouver nisei to join the Japan students at Seattle instead.

Accordingly a committee will meet tomorrow night to plan a sight-seeing tour for the student delegation in the brief three hours the Helan Maru stops here en route to Japan on September 16.

Asahis Cop First from M.-Gordons

ASAHIS—8
MERRITT-GORDONS—5

A wild seven-run avalanche in the third frame gave Asahis an 8-5 win last night in the first game of the Burrard Baseball League best four of seven finals.

Asahis cracked the M.-G.s in the third when a couple of errors, a walk and a wild throw paved the way for Eddie Nakamura's four-ply wallop with bases crowded. Seven runs were scored in this inning.

Suga was slow to warm up giving out five runs in first four stanzas but he finished strongly.

The second game will be played tonight at Powell ground at 6 p.m.

Bainbridge Plays Contest Saturday

The Bainbridge A.C. baseball team will play a pick-up side of the Japanese Baseball League on Saturday afternoon from 5.30 p.m. according to announcement made by Secretary Don Sugiman. A decision of Burrard League not to use the ground for playoff purposes—Saturday opened the Powell ground for the international game between Vancouver and the Winslow, Washington nine.

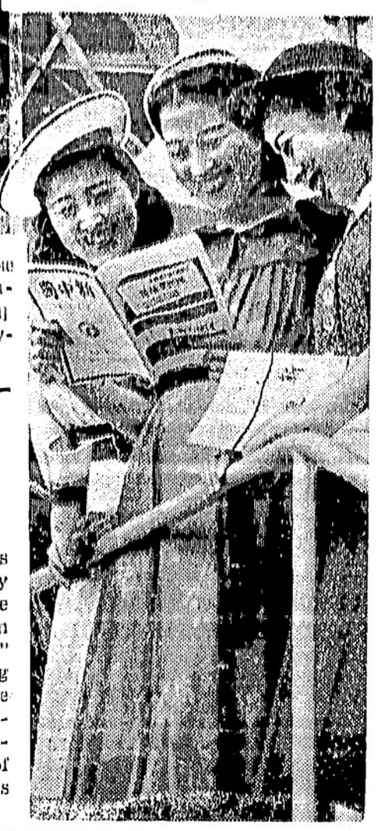
The local team to be composed of Asahi Giant and Mikado players will become known Saturday.

NEW WESTMINSTER DISTRICT YOUNG INVITED TO UNION DANCE

New Westminster and Queensboro young people are invited to join the Sports Union dance on Labor Day at the Peter Pan Ballroom. Many outstanding nisei talent have been lined up for the affair and officials promise visitors an entertaining evening.

Tickets are selling now at Ernie's Ice Cream Shop, Tammy Bicycle Shop or at Columbia Studios.

Shanghai, Tokio Ladies



In the top picture is shown a Chinese woman of Shanghai in one of the tearooms. Bottom photo shows a group of Tokio lasses, who seem to be enjoying whatever they are reading.

Premier Hopeful of Europe Peace

"There is nothing in the difficulties that have arisen between Germany and Poland which would justify the use of force involving a European war with all its tragic consequences," Prime Minister Mackenzie King said yesterday. He also said in spite of grave newspaper reports from Europe that there are still "No questions which could not be capable of peaceful solution if only conditions of confidence could be restored.

Japanese Primary School Works For Exhibition In Japan Being Collected

Shichiro Suzuki, former principal of the Japanese School at Ocean Falls, will supervise over the collection of various works of Japanese primary school pupils in Canada, U.S.A. and Hawaii for the exhibition to be sponsored next spring on February 11 or thereabouts in Tokio by the Nippon Rikiko-kai with the support of the Tokio Nichi-Nichi, one of Japan's leading newspapers.

The exhibition, which is to be a project commemorating the 26th centenary of the founding of the Japanese Empire, will endeavor to have on display the compositions, writings and drawings of fifth and sixth grade pupils of "jinjoka" and first and second gade pupils of "kotoka" from the Japanese primary schools all over the world including some 2,500 schools within Japan proper; 1,000 schools in Korea, Formosa, Sakhalien Island, South Sea Islands and Kwantung Province; 500 schools in Manchoukuo and China; 500 schools in Canada, U.S.A., and Hawaii; 500 schools in South America; and a number of schools in other countries, totalling approximately 5000 schools. These works will be subjected to circulating exhibits following the conclusion of the exhibition.

Each school is entitled to submit one of each kind of work from "jinjoka" and "kotoka" on or prior to the last day of this year.

Awards will be made to first, second and third best works in each group, which will be chosen by three committees headed by the following persons:

Committee for composition: Kyōji Shirai.

Committee for penmanship: Keichu Bundo.

Committee for drawing: Keigetsu Matsubayashi.

Mr. Suzuki has already secured works of the pupils in Ocean Falls and the Fraser Valley district and is at present concentrating his efforts in Vancouver. From here, he will proceed to Steveston, New Westminster and then to Vancouver Island. Thence he is planning to go to the U. S. A. and subsequently to Hawaii to arrive in Tokio at the end of the year.

A Nisei Discovers America

By DR. YASUQ SASAKI

I have said that in order to know America one must see it first hand, most of all, go to the people of the States. There are of course, adjuncts or aids to this guest of knowledge about America. There are the newspapers, magazines, books, news-reels, speeches, forums, schools and churches all contributing to the dissemination of facts about our country. The commonest source of facts is undoubtedly the daily press, seconded perhaps by the weekly and monthly magazines.

In out literate nation the daily journals are far-reaching. Their publishers maintain that not only do they express public opinion but help tremendously in shaping it. To what extent this is true remains largely a matter of conjecture.

Let's take the example of the last Presidential election. It is said that 85 per cent of our newspapers editorially were anti-Roosevelt. The result was an overwhelming landslide with 266,000,000 votes for F. D. R. to 16,000,000 for the favored Republican candidate. We can't say, in an attempt to explain, that the press does not reach large bodies of our people. The circulation reaches at least a fourth more than there are number of families in the United States.

The explanation is simply this: the people's ideas are preformed; they have learned to separate the chaff from the grain. The public, in a large measure, is able to see through the camouflage of editorial juggling and misrepresentation of propaganda. Then the people know that but a few of our large newspapers have the interest of the common man at heart. Thus as evidenced in 1936 and in the Olson-Bowron victories as we see them today, the attacks on our President, on Bridges, the press of America has hit an unprecedented low ebb in influence over the readers.

You perhaps think by reading your papers that the United States is dominantly for isolationism, that Borah and Hiram Johnson speak for the majority of the people. Again we find that the press is showing bias. The Gallup poll, the new Republic poll (despite the New Republic's leaning toward isolationism) and various other sources of information give us ample proof that the majority of Americans are definitely for some plan of collective security against aggressor nations. Polls, you might say, are not a true indication. Gallup, Fortune and others have in the past demonstrated reliability. Of course we have the exception, the fiasco of the Literary Digest poll, in which the sponsors are blinded by wishful thinking from the very beginning.

Crises in foreign lands, crises on domestic soil—clashes of ideologies, capital-labor antagonism, racial chauvinism, government-business and tory-liberal indifferences—have helped to arouse the readers from mere apathetic or trustingly credulous attitudes in their perusal of daily editorials and editorialized news.

Let's now speak for the nisei. The nisei, we believe, do not lag too far behind the general American public in their skeptic approach to the biased press. It is granted, not only among the nisei but among the enlightened American students of Japanese activities in the States, that the nisei press in most cases tends toward being definitely reactionary, a contrast to the atitude of a large number of Jewish, Negro and Mexican press. It is in our nisei editorial we find courageous deferences to such people of ill-repute as Hitler, Chamberlain, Hearst and Hoover. Red-baiting and labor-baiting have appeared in certain nisei columns. That the readers harbor similar ideas is far from the actual truth. The raising of voices of opposition among nisei readers is a healthy sign.

What do we mean by going out to seek the truth about America ourselves? Certainly not blind credulity to whatever we read or hear. Certainly no motional response to empty words— economy, don't meddle with business, dictatorship of the left, moral re-armament, etc. In our reading we have to dig deep for the truth. We have to know the meaning of democracy, democracy not of big corporations, not of machine but of men.

Provincialism, whether of Post Street, East First or even of California, hardly clears the questions before us in a truly continental or world-wide way. The pulse of the world, the nation, throbs against the point of our noses, our neighbors are talking immediate issues: democracy at stake, the threat of reaction, racism, fascism, the need for economic security, peace, freedom and justice. Open ears, eyes, mind and heart. This is the way we discover America.

Odori Group Entertains Woodfibre

WOODFIBRE.—With the purpose of tendering its members a moment of relaxation and pleasure, the local Isshinkai invited the members of the Ryubikai, odori club of Vancouver, to stage a concert here August 19 and 20.

Attended by a large crowd both evenings, including many Canadians, the odori concert was a great success, encapturing the hearts of everyone with the beauty and gracefulness of typical Japanese dances.

Shakuhachi and violin solos were alco rendered by Messrs. Nishida and Tamoto.

Those who participated in the concert were Ikumi and Teruye Yamashita, Hope Handa, Emiko Nakamoto, Tamiye Sumida, Martha Hori, Harumi Tomotsugu and Yoshiko Yamashita. The troupe was led by Mrs. Tonokai, odori teacher and president of the Ryubikai.

Osaka Taxi Drivers Are Subdued

OSAKA.—In order to see "the other's point of view," taxi drivers took the places of traffic policemen and directed traffic at the busy street corners in Osaka.

After a day's work they reported to the traffic section of the Osaka prefectural police very much fatigued and expressed their gratitude for the valuable experience.

"From now on we won't say a thing even if we get a bawling out for breaking traffic laws. We'll try very hard too not to break them," they said.

Other taxi drivers will be afforded the experience daily until every one of them has stood in the scorching sun "to see themselves as others see them."

GIRLS COLLEGE OF PRACTICAL ARTS

Fall Term

SEPTEMBER 5

GENERAL COURSE

DESIGN
DRESS-MAKING
EMBROIDERY
ARTIFICIAL
FLOWER MAKING

Also Special Courses to Suit Individual Need Available

Mrs. Sada Shinobu
Principal

For Particulars and Prospectus Write, Phone or Call On—

302 ALEXANDER STREET

PHONE: TRinity 0283
HIghland 5975-L

Nippon Prepared For World Flight Saturday; Test Made

Revised Airplane Timetable Given

This is the latest revised schedule which the round-the-world plane, "Nippon" will follow, according to information received here by Yoriki Iwamuki, local representative for the Osaka Mainichi and Tokio Nichi Nichi.

Aug. 26, 10 a.m. — Departure from Tokio.
Aug. 27, 3 a.m.—Arrival in Nemuro.
Aug. 27, 9.30 a.m.—Arrival in Nome, Alaska.
Aug. 28, 6 a.m.—Departure from Nome.
Aug. 28, 12.30 p.m.—Arrival in Whitehorse, Yukon.
Aug. 29, 6 a.m.—Departure from Whitehorse.
Aug. 29, 1 p.m. — Arrival in Seattle, Wash.
Aug. 30, 6 a.m.—Departure from Seattle.
Aug. 30, 12.40 p.m.—Arrive Los Angeles, Cal.
Sept. 2, 8 a.m.—Leave Los Angeles.
Sept. 2, 12.30 p.m.—Arrive Albuquerque, New Mexico.
Sept. 3, 6 a.m.—Leave Albuquerque.
Sept. 3, 1.20 p.m.—Arrive Chicago.
Sept. 4, 8 a.m.—Leave Chicago.
Sept. 4, 12.30—Arrive New York.
Sept. 8, 10 a.m.—Leave Ne wYork.
Sept. 8, 11.20 a.m.—Arrive Washington, D.C.
Sept. 9, 6 a.m.—Leave Washington.
Sept. 9, 12.20 p.m. — Arrive Miami, Florida.
Sept. 10, 6 a.m. — Leave Miami for Costa Rica.

Student Conference Ends Saturday; Visit Yosemite

UNIVERSITY OF SOUTHERN CALIFORNIA (G.N.)—American and Japanese students exchanged farewells at breakfast as the sixth annual Japan-America Student Conference dispersed last Saturday. Most of the American delegates left for their respective homes while a few are remaining with the Japanese delegation to accompany them to Seattle.

Delegates will leave for Yosemite August 23 and will reach Seattle, after a short stop at Portland, on September 5, from where they will embark for Japan on September 17 on the "Hikawa Maru."

Many American delegates had their first taste of sukiyaki at the sukiyaki party Friday which the Japanese delegates tendered the entire delegation in return for American hospitality. Japanese students attended in native costume, girls in bright, colorful kimono and the men delegates in the picturesque hakama with tabi and zoori.

Though language difficulties prevailed in the discussion groups, problems discussed resulted in a clearer understanding on the part of both American and Japanese students.

Topics under discussion were of a deep nature and required much research by delegates. Democracy vs. fascism, compatability of internationalism with nationalism, economic interdependence, effectiveness of the League of Nations, Japanese economic expansion in the Far East, significance of Japan's armament industries, and factors in American and Japanese naval policy were a few of the problems aired.

Others included the comparison of the constitutional structure of the two countries, the government's role in industry, internal policies of the two nations, labor organizations and labor law in Japan and America, student life, culture, and customs and religion of the two peoples.

Seattle-born Artist Finishes San Francisco Mural

SAN FRANCISCO — Shizu Utsunomiya, young Seattle-born Japanese artist, and a graduate of the University of California, is putting the finishing touches to the great seal of San Francisco—a section of the mural designed by Marian Simpson to go in the San Francisco County assessor's office. Both artists are from the WPA Federal Art Project.

The mural is being painted in the form of a large map and will show important buildings, industrial locations, trade routes, and recreational sites.

Plane Expected Over City Next Tuesday Noon Hour

TOKIO—The "Nippon," the round-the-world flight craft of the Osaka Mainichi and the Tokio Nichi Nichi, one of the largest sister papers in Japan, which left Mukden recently at 12.53 a.m. on its first night flight trafning, safely landed at the Haneda International airport, Tokio, the same day at 7.04 a.m., covering the distance of more than 1000 kilometers in 6 hours 11 minutes. The plane was in perfect condition.

The average speed was slightly more than 267.7 kilometers an hour and this was faster than the Tokio-Mukden flight made on July 28.

In its return flight, the craft made a blind flight at an altitude of 3,000 kilometers. In the vicinity of Noto Peninsula, the plane rose to an altitude of 5,000 meters to fly above a strata of bad weather.

In view of the national significance of the globe-circling flight, the telegraph affairs bureau of the Communications Office, the aviation board of the same, and the Tokio metropolitan communications bureau, in co-operation with the Japan Broadcasting Corporation sent out radiograms to guide the "Nippon" from 4 to 6 a.m.

The six members of the crew, headed by Chief Pilot Sumitoshi Nakao; Takeo Ohara, manager of the aviation department of the Osaka Mainichi and Tokio Nichi Nichi and aerial goodwill envoy, and Kisaburo Wada, assistant manager of the aviation department of the Tonichi-Daimai, alighted from the plane in high spirits.

Test Flight To Mukden Ends Successfully At Tokio

MUKDEN. — Attempting its first night-flight in preparation for the forthcoming departure on a round-the-world hop, the airplane "Nippon" left the local airfield at 12.53 a.m. en route back to Tokio.

During their test flying here, the flight leader and the six aviators gained the following results:

1. The six birdsmen, led by Captain Sumitoshi Nakao, have perfected their team work.
2. Assistant Pilot Shigeo Yoshida has found that the plane is capable of making a blind landing.
3. Wireless Operator Nobusado Sato has found satisfactory the apparatus installed aboard the plane for use in blind landings.
4. Mechanics Hiroshi Saeki and Hajime Shimokawa have mastered technical details of the craft.
5. Wireless Operator Chosaku Yaokawa has tested the apparatus attached to the plane for use in astronomical observations.
6. Takeo Ohara, non-flier, the leader of the flight, has trained himself in long-distance high-altitude flights.

Nippon Participates In U.S. National Air Race Report

LOS ANGELES (Rafu Shimpo) — The "Nippon" has accepted an invitation to participate in the National Air Races to be held here and in Cleveland.

Extending their scheduled stay of two days to four, the giant Mitsubishi transport plane is scheduled to land at the Union Air Terminal at Burbank at 12.40 p.m. Wednesday, Aug. 30, according to a cable from Tokio. The craft will take off for Albuquerque at 8 a.m., Sept. 2.

"I admire that cocksure optimism and I've a hunch they will be on time," stated Dudley M. Steele, president of the Burbank airport.

More than 40,000 fans will have an opportunity to view Japan's aeronautical product during their stay over the gala Bendix Air meet to start from the Union Airport on September 1 for Cleveland. The "Nippon" will also fly over Cleveland in salute to the National Air Races on the way from Chicago to New York on Sept. 4.

The twin motor all-metal plane of Japanees design and make will leave the Haneda Internataional Airport in Tokio next Saturday for Nemuro and then out over the Pacific to Nome, Alaska.

It is expected that with favorable weather conditions the plane will be sighted in Vancouver, British Columbia, on August 29, as it flies from Whitehorse, Yukon, the second stopping place on this continent, to Seattle, Washington. From Seattle the plane continues without a break to Los Angeles, without landing in San Francisco, according to latest announcements.

Fukuoka Seinenkai Two-Day Labor Day Program Is Announced Here

Arrangements have been completed by the Fukuoka Seinenkai to secure the Nippon Club for their headquarters for the Labor Day week-end conference. Ten Tacoma delegates have already expressed intentions of coming to the annual Pacific Northwest Convention which is being held here this year. Seattle and Portland are other cities sending delegates.

The Nippon Club will be open to the Fukuoka young people from 10 a.m. on Sunday, September 3.

All local members who will attend the conference are asked to notify Secretaries Shigeharu Okumura at HIgh. 3062-R, Yuriko Hatanaka at HIgh. 0417-R, by the end of this week.

The Vancouver group seeks augmentation of the Vancouver, Seattle, Portland, Tacoma group by inviting all members from surrounding points in the Fraser Valey to join the gathering.

The program for the two-day meet was announced as follows:

Sunday, Sept. 3

2-2.30 p.m. — Official Opening under chairmanship of Don. T. Sugiman. One speaker from each chapter will speak: Misao Hatanaka for Vancouver Portland, Tacoma and Seattle speaks in order.
Individual introductions to be made.
2.30-4 p.m. — General meeting, chairman Shigeharu Okumura. Reports from Seattle, Tacoma, Portland, Vancouver (Yuriko Hatanaka) to be heard.
Community singing will be led by Chairman Doug. Oike.
Open discussion of problems.
4-6 p.m.—Free time: visitors will be taken on sightseeing tour.
6-8 p.m.—Banquet at Fuji.
8.30-12 p.m.—Dancing at Fuji.

Monday, Sept. 4

The younger set will join the elder Fukuoka group who are holding a picnic at Lynn Creek. But the Seinens will meet at the Hompa Kaikan at 1(a.m. and visit Stanley Park and cross by First Narrows Bridge, taking American visitors to Whytecliff before proceeding to Lynn Creek. It will be a combination picnic-sightseeing day

TAIRIKU NIPPO

(The Continental Daily News)
(Established 1907)
Published at
213 East Cordova Street
Vancouver, B. C.
Phone TRinity 5533

Please address all communications to this department, "English Section," for quick handling.

Subscription: 75 cents per month.

Propaganda

By T. I.

The fast moving events in the world today in relation to the Canadians of Japanese ancestry has taught at least one lesson. These are sons and daughters who are not easily persuaded by propaganda, whether from Canada or Japan, since they have seen so much abuse. They would form their own opinions and the majority would dig below the surface to seek what is right or wrong.

But in the seeking of right and wrong the bewildering assortment of authoritative opinions expressing first one side and then the other confounds. With all the mass of information and "knowledge" too, available to us in this day, we find those who will not attempt a study of the "other side" are the ones who condemn first.

Now, it is recognized that a prejudiced mind is hardly the proper authority to pass judgment on any subject, no matter how trivial. Thus we find that when one mocks on such a spiritual matter as loyalty to one's country, the Japanese born in Canada, frankly speaking, has few solid counter-arguments.

About the only analogous argument we can think of at present is that when a man marries a woman, he is supposed to "love" her. He is asked to swear "loyalty" to her. Yet only time tells whether the partnership bears fruit.

The Canadians of Japanese ancestry require time to prove to the satisfaction of all that what they feel and think now is sincere. Theirs is no easy task. It could be lightened if not by understanding, then by constructive criticisms which would require thought and study beforehand.

Yes, propaganda comes from every source excepting our own. But we like to believe in the better nature and intelligence of man who although believing that it is propaganda, is willing to "read between the lines" so to speak, to ferret out even that one single grain of truth that must be there regardless of motives.

Kyoka Izumi's Romances

Continued from Last Saturday

Another example:

"Mother you wouldn't hate the woman who loves your son?"

O-Kimi's faint voice just then reached her ears.

"Oh," said Okitsu, and her tears fell fast over the bleeding chest of the dying girl.

"I know, I know. That is why I will not let you go alone. Your mother will take care of Kanae, I suppose, and I, in return, becoming your mother, am now going to carry you on my back. Right?"

Sohei, drawing nearer, gasped.

"You, you—,Oh, dear me,—"

"Never mind," Okitsu cut it short calmly, "Don't try to let us die in vain. If you ever learned anything ont of this, never again shall you trifle with women. Understand? And remember that Kanae is my son."

"But—", at that moment a boat appeared on the river with a little light at the bow flickering in the moonlight. And simultaneously, not very far off in the street, the red light of a policeman's hand-lantern hove in sight. It was coming nearer and nearer, so the woman took O-Kimi in her arms and put her on her lap.

"Mind!" she called out.

"Yes," as Sohei answered, the boat was now close to them.

"We musn't be suspected," she went on hastily, "So, sing, I say, sing, and let them pass. Oh come, be a man!"

Sohei clenched his hand, and trembling all over, staggered toward the middle of bridge as if spring out. There he stood, stamped his feet, and staring at the approaching lights, sang aloud but sadly.

The grass on the bank is tread on and dies once.

But comes again to life when instilled by the dew's love.

This was once the favorite song of O-Kimi when she was a courtesan. Now hearing it sung by Sonei her murderer), she listened to it in ecstacy. Then raising herself, she hugged Okitsu's neck, her eyes fixed on vacancy, murmuring in a painful voice.

"How vexing!"

"Oh," Okitsu rejoined tearfully. And pressing her cheek hard against the other's said resolutely. "Forgive me."

With one stroke, she gave the panting girl a coup-de-grace, and with another, fell over her, dead.

I wonder how far the song had reverberated then.

The above translation is the famous last passage of Tatsumi Kodan, one of his representative works of the early period. It is less complicated, but, as you see, rather subtle in describing a horrible murder scene. I need not relate the whole story, nor should it be made clear on what motive the novel was written. Suffice it to say that it was made from life in the licensed quarter at Susaki in the later half of the Meiji era. To write the romance of this kind was then somewhat in vogue, as something like a revival of Tokugawa literature. And Kyoka, as a desciple of Koyo Ozaki, made his reputation largely with such works exquisitely written in his special style.

n these romances the aristocrats, military officers and rich merchants are almost invariably treated with disdain as "hateful moustached gentlemen." They have no chance to win women's love, whereas the poor, nameless powerless young men are often made gallant heroes.

Such a tendency is seen throughout the literature of the Tokugawa period which perhaps was the only way for the oppressed plebian writers to vent their common resentment against the privileged class.

This feeling, however, was still more acute among those licensed women who were virtually slaves under the cruel law. Money that had been the cause of all their misfortunes, curiously lost its attraction to them as soon as it became the almighty ruler over their wretched lives. And power, the thing that they never enjoyed themselves, cme to meet with their unanimous contempt and antipathy.

True, their bodies were no more than merchandise, but their hearts, despite that miserable duty, were after all their own. To give them freely to those whom they loved, refusing all who were detectable, was indeed the sole right yet left to these poor women.

Even the power of gold, of often just because of both, they would not give up this last portion of their spiritual liberty. Even their lives, when balanced with the fatal loss of such privilege, seemed to them as light as a feather. They would gladly sacrifice them to be faithful to the command of their hearts.

From this we may believe, it was only natural that they were inclined to stand with the poor ond weak rather than those who could be of material more benefit to them. Hence the essence of the Eddokko spirit, or the spirit of the natives of Edo.

Edo changed its nam einto Tokio after the Meiji restoration. Many country people rushed in even to form the government. And the spirit of the Edo people, as the name of the city disappeared, began to vanish also. People nowadays have become wise enough not to sacrifice their interests for the sake of the worthless poor and weak.

However that special quarter, so special that I can hardly believe it to exist in a civilized country, still remains very much the same as it was. And in the Meiji era, it seems, a similar sentiment was still found to a certain extent among those unfortunate women .Kyoka evidently interested in this fact, picked it up, and moulded it into a fine romances. In this line, indeed, he can be accepted as the best of all authors. Only his stories are usually too romantic, his wording, too peculiarly beautiful to induce the reader to serious thinking. Otherwise, I should like to presume, surely more people would have been sufficiently impressed by the horror of the vice to raise a voice against it, instead o fmerely leaving the matter to the work of the Salvation Army.

The famous monologue of Chozan, the courtesan in Tsuya Monogatari, has indeed delighted many Eddoko hearts at the theatres. But here too, in place of a sense of pity, disgust and indignation, we are more likely to be inspired with a sensation amazing! exhilarating, almost exulting, at the victory of the brave heroine. To Kyoka, as well as in his own justification, women of the gay quarters all seem to claim only one thing against the miseries and insults to which they are humbly subject. That one thing is sympathy. That, in fact, he bestows upon them ungrudgingly, and by beautifying them almost with admiration, he endeavors kindly to comfort them. As a result, these women who are but a disgraceful existence elsewhere, preside as queens over the kingdom of sentiment.

Kyoka extends this treatment to women of other kinds, in truth, to all of that sex.

"Let us drink from a chalice caled the plain of Musashi," exclaims a woman triumphantly. "When we walk bare footed, loving each other under an umbrella, our sleeves drenched in rain, are we to envy the motorcar?"

Or, again:

"If I said such a thing as what I have just told you," declares a geisha boldly, "those men in Kyoto would not wait till tomorrow, but would go home at once and come back with money. Is that what you call love? No! what I mean is the concern of life, the lives of two, lives of lovers. Many men would say that they love and call us lots of sweet names. But nobody says 'Die and I'll die too.' True, plenty of money they may offer, soft caresses they may give. But after all they are like bird-catchers who run after birds with bamboo-poles. What on earth can I do with these creatures?"

Such feeling is displayed all through his works. He sides with the poor, wretched and oppressed, not particularly because they are always right, but because they are powerless.

Therefore he backs the workers and justifies their revolt in Furyu Sen without the slightest motive to incite. In Koya Hijiri his imagination runs even so high as to manufacture a mysterious woman of extreme beauty with magical power, who turns the men approaching her with lustful desire into beasts, birds, and reptiles. Beauty indeed occupies the most sublime place in his sentiment. And woman's virtue is one of the most beautiful things in nature. Any violation of it appears to him an unpardonable sacrilege. He would therefore spare no severity in punishing any such violator .

All these ideas however, seem to come as a flash to his inspiration. And with one bold stroke he achieves whole stories, little thinking of their appearance and results. In the revolt scene in Furpu Sen, for instance, the description of a workman's manner of handling his axe is obviously too dramatic and exaggerated. And the reader is bewildered in grasping exactly what is actually happening.

To conclude, we may point out that all these inclinations are largely embraced in that spirit of Edo people, characteristic of love of beauty, bravado, chivalry, straightforwardness, sympathy with the weak and antipathy to the rich and strong. But Kyoka himself was not born in Edo, or Tokio, and just as we do not know how far he remains faithful to th ethoughts displayed in his romances, we cannot tell how much of the Edokko spiirt he really holds.

However, he is the only survival and perhaps the last one of this kind of novelist. He has already had his day. But that was a glorious day.

Conclusion

Even Chance For Hammond, Unions To Win Ko Ishii Cup

The third and final game of the Japanese Baseball League between Hammond and Unions will be played at the Powell ground Sunday at 2:30 p.m. Unions won the first 5-3 and Hammond came back last Sunday to win 6-4.

With two teams of equal strength fighting for Ko Ishii Cup honors, fans are promised an exciting contest. Kusano's feat of handcuffing the Union bludgeons last week-end has raised Hammond hopes. If he doesn't start, the Hammond management is expected to throw Tommy Sawayama in first, holding Kusano in reserve like the last time.

For Unions, Mike Maruno is counted on to check the Farmers. He has a winning game to his credit. At any rate Maruno will have to be given more help than Kamitomo and Kutsukake received.

Batting averages for the two games are:

	A.B.	H.	Pct.
Inamoto (Unions)	3	2	.660
Oike (Hammond)	9	5	.555
Hoshizaki (Hammond)	8	4	.500
H. Shimoda (Hammond)	7	3	.428
Y. Ono (Hammond)	7	3	.428
Tanaka (Unions)	10	4	.400
Okumura (Unions)	8	3	.375
Suzuki (Unions)	8	3	.375
Asano (Unions)	9	3	.333
Masuda (Hammond)	9	3	.333
Wakabayashi (Unions)	7	2	.285
Maruno (Unions)	4	1	.250
Akiyama (Unions)	8	2	.250
Kusano (Hammond)	8	2	.250
Sawayama (Hammond)	4	1	.250
Tsujiura (Hammond)	4	1	.250
Cowham (Hammond)	9	2	.222
M. Shimoda (Hammond)	3	0	.000
Tamura (Hammond)	3	0	.000
Fukui (Unions)	4	0	.000
Inouye (Unions)	1	0	.000
Yanagisawa (Unions)	7	0	.000
Kamitomo (Unions)	1	0	.000
Kutsukake (Unions)	2	0	.000

Nisei Sports

Ski Executive Is Better

Ray Takeuchi, hard-working executive of the Fuji Ski Club, who was one of the unfortunate victims of the recent epidemic of sickness, is well on the road to recovery, we take great pleasure in reporting.

During the early part of the week, it was feared that Ray would have to be hospitalized but he took a sudden turn for the better and is now reported to be resting comfortably. Skiers have missed his helpful hands and are glad his confinment is to be a short one.

Hammond's Kusano Really Worked.

Journeying to Hammond last Sunday, a really blazing day, on an hour motor trip was an enjoyable experience. Seeing Hammond's Kusano working his heart out to reedem Sawayama's courageous comeback on the slab was worth it. The spirit each player put into the game easily counteracted for the lagging pace of the contest resulting from a pitcher's duel —for in spite of the fact Unions used three pitchers, one might have lasted had it not been for the unfamiliarity of the visitors with the uncertain ground conditions, although it can be said that a Japanese League game without a miscue is an oddity.

Still it should not be thought that we are discounting Hammond's successful bid to regain equal footing in the final series with Unions. Manager Ty Suga seemed to have all odds against him yet as Kusano held the fort against Unions' hard - hitting youngsters and his hitters forced the Steinmen into costly outfield errors with high-hit flys, Hammond triumphed.

According to Pitcher Kusano, the Hammond field was to have been resurfaced and ploughing had been started but due to lateness of the season, the job had been left unfinished. Thus the furroughs of the plough had been covered by uncut weeds which made it tough for strangers. The Senior B circuit of that district uses the same park.

The third and deciding game should be good this coming Sunday in spite of what basketballer Mi Akiyama who looked and was terrifically bored, says. A student of and an admirer of Louisiana State basketball system, the only thing that attracted Mi's attention seemed to be a theatre blocking right field which he believes would make a splendid gymnasium.

Open Tennis Meet Nears

Only two weeks remain before the annual B. C. Japanese Open Tennis Tournament and would-be champions are straining at the leash being rapidly keyed up to match temperament by practising regularly whenever time permits.

There's less "fooling around" these days. There's Mat Matsui and Johnny Tanaka, who really promise to do something on Labor Day. The return of Fred Sasaki defending the crown he won in 1938, adds a further touch of doubt. Tom Nobuoka is looked upon as a real threat this time, having

On the Bases

By "S. K."

The community will be privileged to witness two teams from across the border in action here, in two successive week-ends, when the Bainbridge A.C., champions of the Seattle Courier A League, makes a pleasure trip to our city and takes on a Japanese League pick-up team for a friendly game on Saturday evening, while Fife Nippons, Courier AA champions, will come the following week-end to finish the three-game international series against Asahis on Labor Day for the Pacific Northwest championship.

Asahis won the first game played in Tacoma on July 23rd, 10-6, and are favorites to repeat on Labor Day, and win the coveted title and the handsome cup donated by the Seattle Japanese-American Courier.

Many speculations have been made regarding the comparative strength of the Seattle Courier A League and the local Japanese League, and the game this Saturday between the Bainbridge squad single A kings of Seattle and district, and a team composed of players from the other teams in the Japanese League, outside of Union Fish and Hammonds, will not help to settle the question any.

A game such as this cannot be taken as a basis for comparison, as the locals, due to the fact that the better part of their good players are taking part in the finals Sunday afternoon, will not be able to field their strongest team. It is very unfortunate that the local champions have not been decided yet, as a game between the champions here and the Class A kings of Seattle, would help to clarify the question of the relative abilities of the two leagues. However, even at that, a single game, although it may help to form a small opinion in our minds, cannot serve as a definite proof of the superiority of one league over the other, but rather, a series of say, three games, along the lines of the international series of Asahis and the Courier Double A titlists, would definitely prove if our league here could stand up to the Courier A League of our neighboring city to the South. It is to be hoped that such a series would become a reality in the very near future.

The Asahis started their final seven-games series play-off against Merritt-Gordon last night for the championship of the Burrard League. Merritt-Gordon won the right to enter the finals by subduing a stubborn Westerns squad three games to one, in a best of five semi-final series. The Hotelmen will be a hard aggregation to beat as they had just hit their stride again in the semi-final games against Westerns, after a period of more or less a slump in both their hitting, and since they had a play-off berth cinched, their will to win.

THE HOT-BOX: It looks like Powell grounds will see a terrific league in action next year, with the news going around that the league up at Athletic Park will fold up at the conclusion of this season. The better players from that league will naturally try for places on the teams already in the Burrard League next year, and it's possible that the loop will expand to five or maybe, six teams. Such a league promises to furnish far stronger opposition for Asahis than they have been getting the past season, and I hope it'll satisfy certain persons that have been criticizing the Asahis for playing in a comparatively weak league, without first trying to understand the reasons for such action by the Asahi club.

HOOK SLIDE: I'm disappointed! Really I am! Look at Roy, who's just returned from the island, and you'll understand why. If you don't, look back over last week's "hook slide" and you'll find out. However, he boasts that the girls like him anyway, with or without it.

ben caught napping by Gus Hirano, who can again be counted upon for his share of upsets.

Sam Hagino and Shige Ouye are dangerous, but as they have proved the veterans should not be discounted. The T. Takenaka, K. Matsubayashi and Z. Kinoshita trio are still going strong.

Then there is the international color this time as Seattle is expected to send players here. Also many locals who play on public courts will be eligible to participate and are intending to show off club players.

It's going to be an interesting tourney. But like the club championships held recently, the open meet promises many more "surprises." There are so many favorites that the two days should see plenty of even-matched "dog-fights."

Look Smart!
WITH
TAILORED-TO-MEASURE
Suit
BY
T. Maikawa

Expertly Measured and Smartly Tailored to Your Own Individual Style by Our Experienced Tailor.

A Fit and Style which will Give You Both Satisfaction and Value.

T. MAIKAWA

BEST BUYS

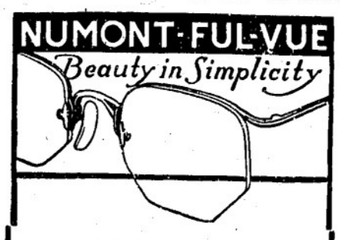
Silk Dress
$2.98— for —$1.49

Summer Overcoat
$7.95— for —$3.95

Also Many Other Bargains No One Should Miss!

Modiste Fashion Shop
T. Shimotakahara, prop.
450 Granville Street
Seymour 4941

NUMONT-FUL-VUE
Beauty in Simplicity



HAJIME SUZUKI
OPTOMETRIST
377 POWELL ST.
SEY. 1185
7935

THE PALOMAR BEAUTY SHOP

Drop In Today .

Permanent Waves & all Branches of Beauty Culture Done in the most up-to-date methods.

The Palomar Beauty Shop is Equipped with the most Modern and the very Latest Machinery.

ROSE MIYASAKI

ROSE MIYASAKI
293 E. Hastings Street. Phone: SEymour 1936

Silk Hosiery?

LADY POWELL
Of Course!

● Newest Shades:—
COMO ROSE
SUNRISE
ROSELITE
ROSEHAZE
WINEGLO

At SHIBUYA'S
374 - 378 Powell Street TRinity 5525